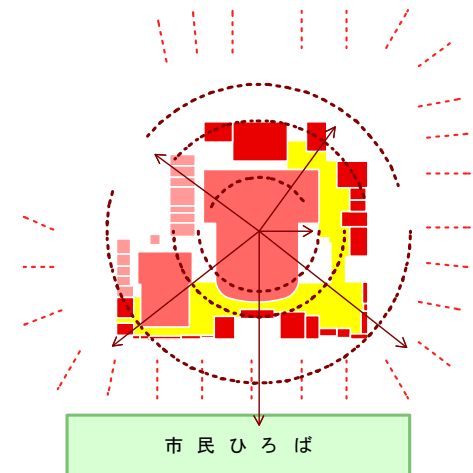


## Ⅱ 建物の概要



# 基本コンセプト1: 丸亀市大手町としての独自の景観をつくる要素

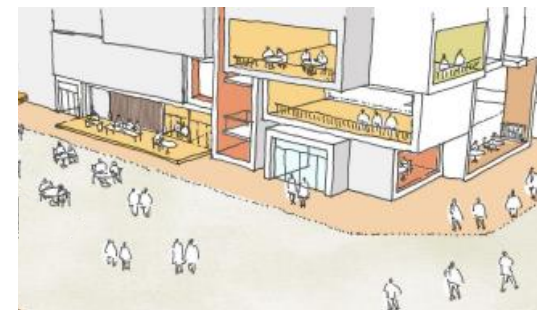
1. 大ホール、小ホールを広場に向けて並べる。



2. 前面のひろばを活かす仕掛け

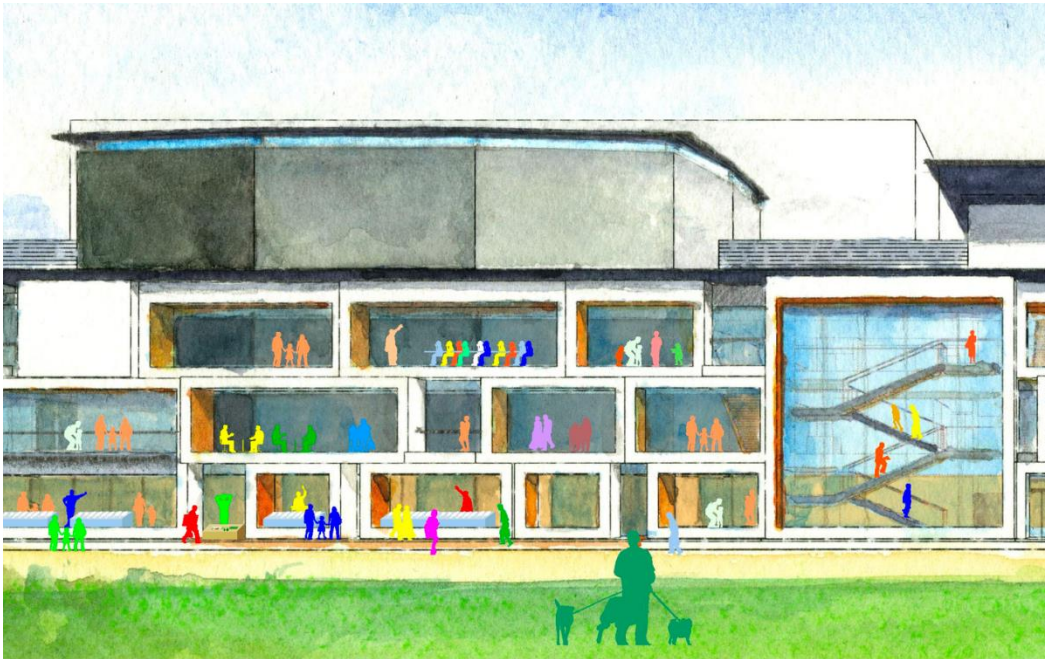


3. 様々な活動・賑わいの場を建物の表面に集める。



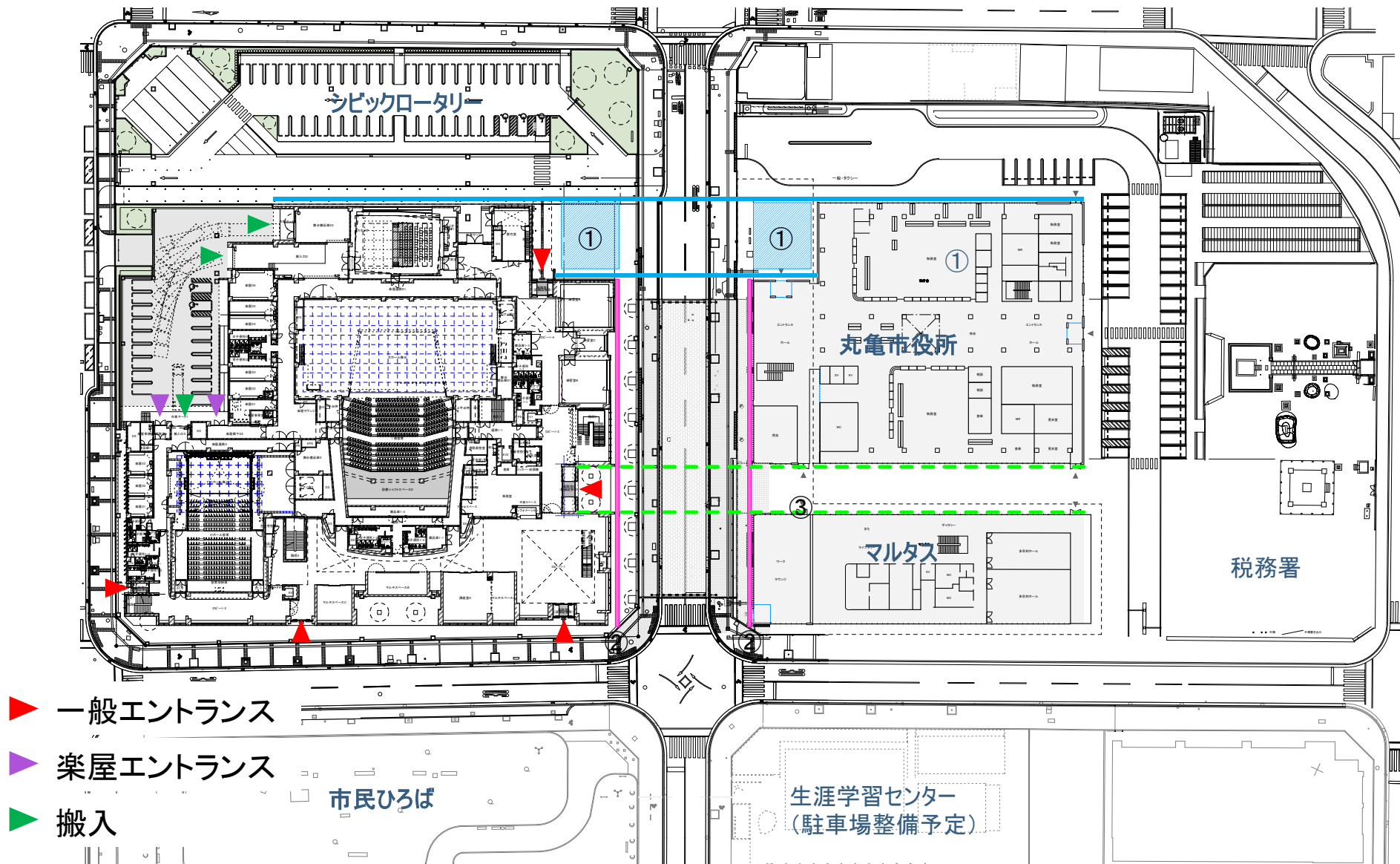
## 基本コンセプト2: 建築構成によるにぎわいの仕掛け

打込みハギのように個性と調和を合わせ持つ外観

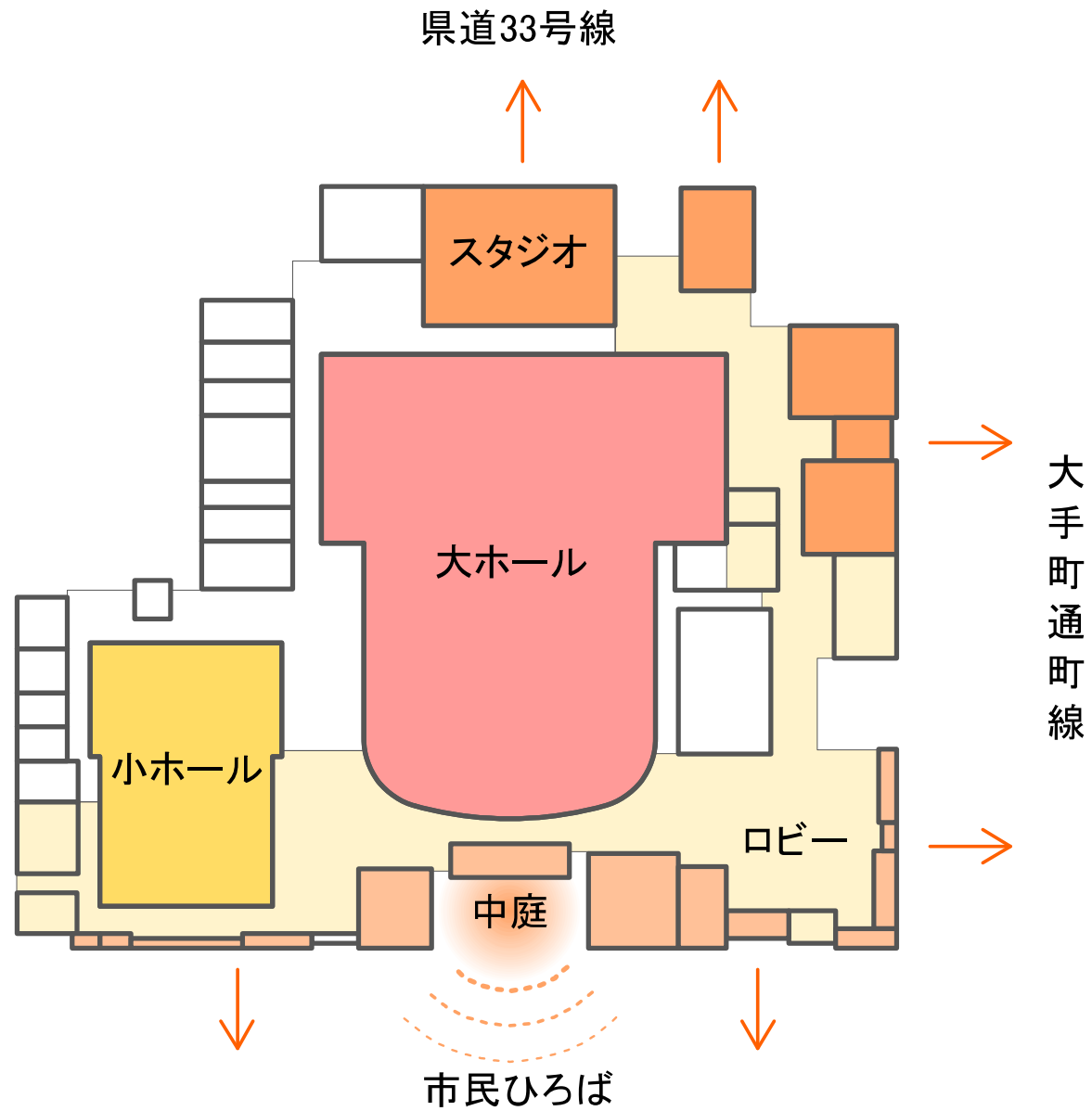


# 施設構成

- ①市役所と劇場の北面、エントランスの面を揃える。
- ②大手町通町線の軸を強調するため、市役所壁面と同程度の距離に壁面を後退させる。
- ③マルタス屋外通路と連続する屋外空間を設けることで、有機的連携を図る。

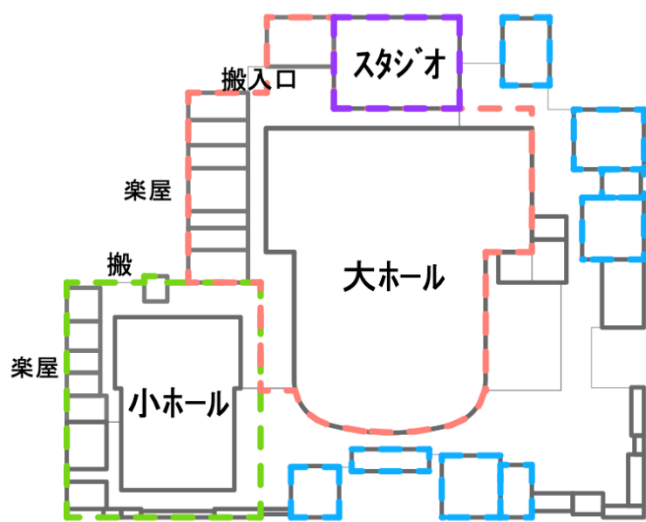


# 平面計画

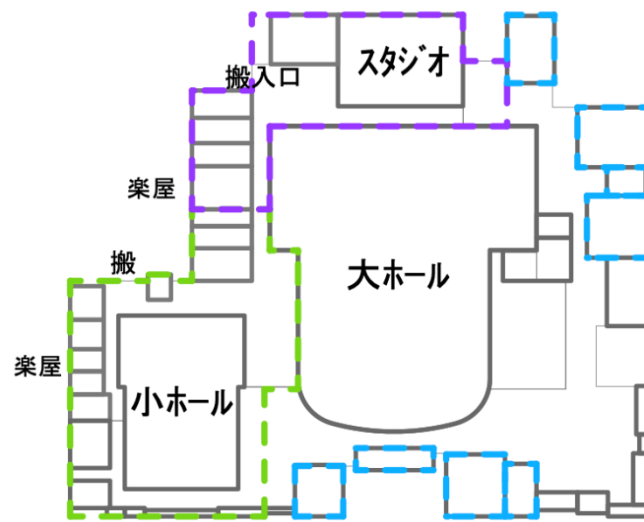


# 平面計画

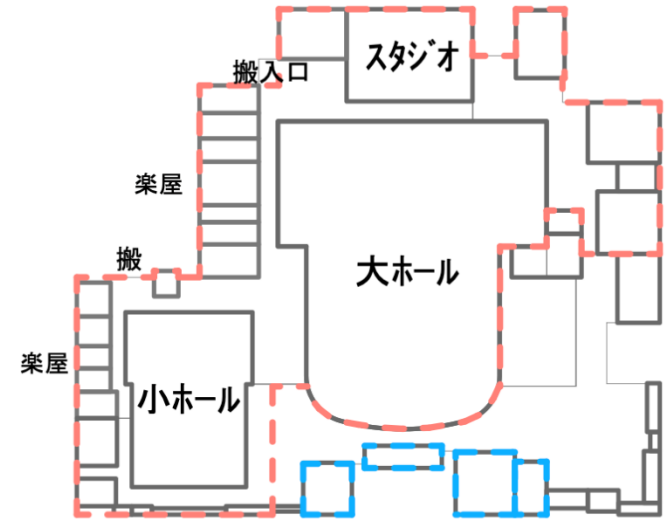
- ・ホールの利用規模に合わせて楽屋エリアを可変できる構成。  
非利用時間と場所を最小にすることで施設稼働率を上げ、利用される施設を目指す。







パターン1



パターン2



パターン3

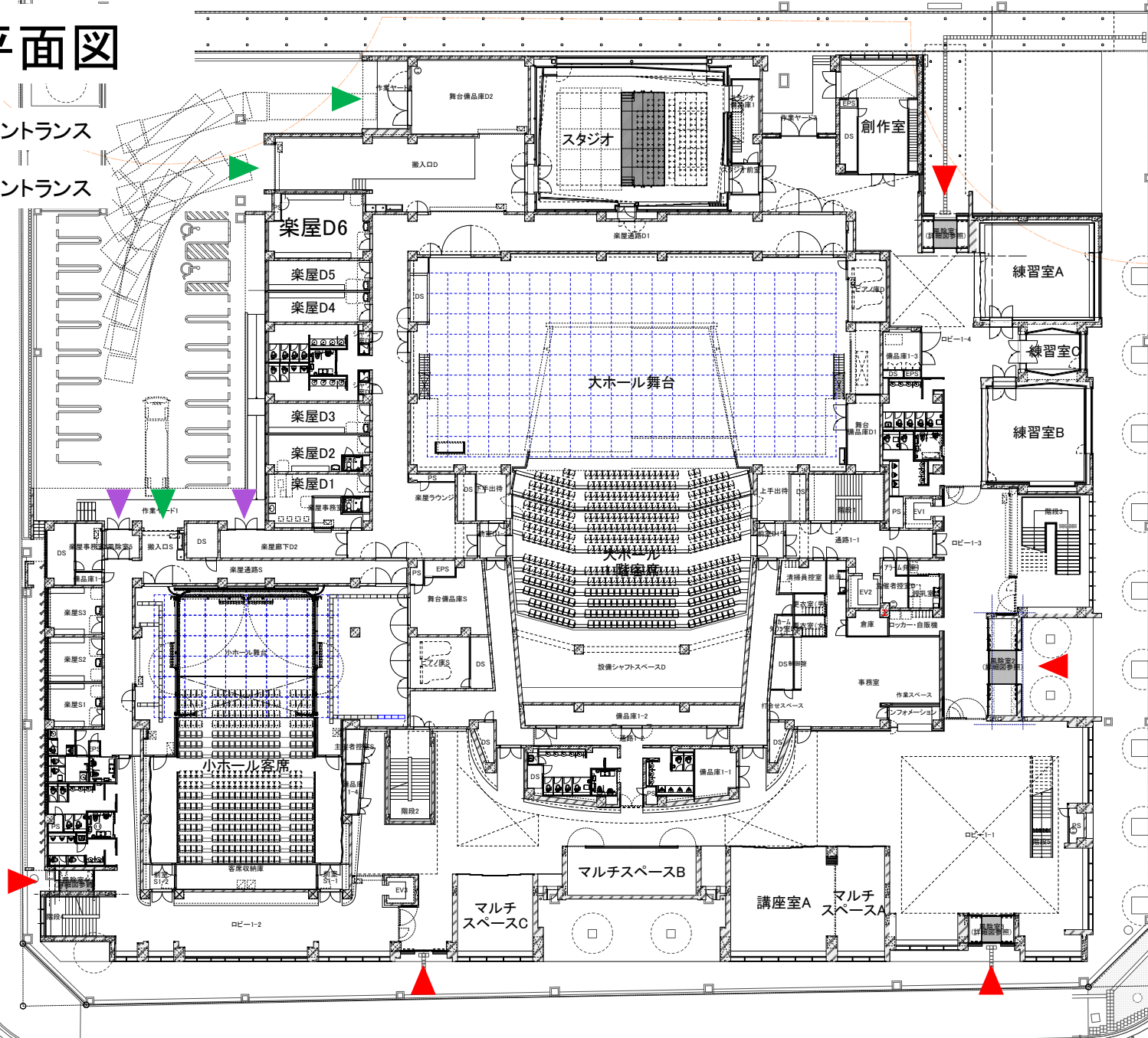
-  大ホール利用
-  小ホール利用
-  スタジオ利用
-  その他個別利用

# 1階 平面図

▶ 一般エントランス

▶ 楽屋エントランス

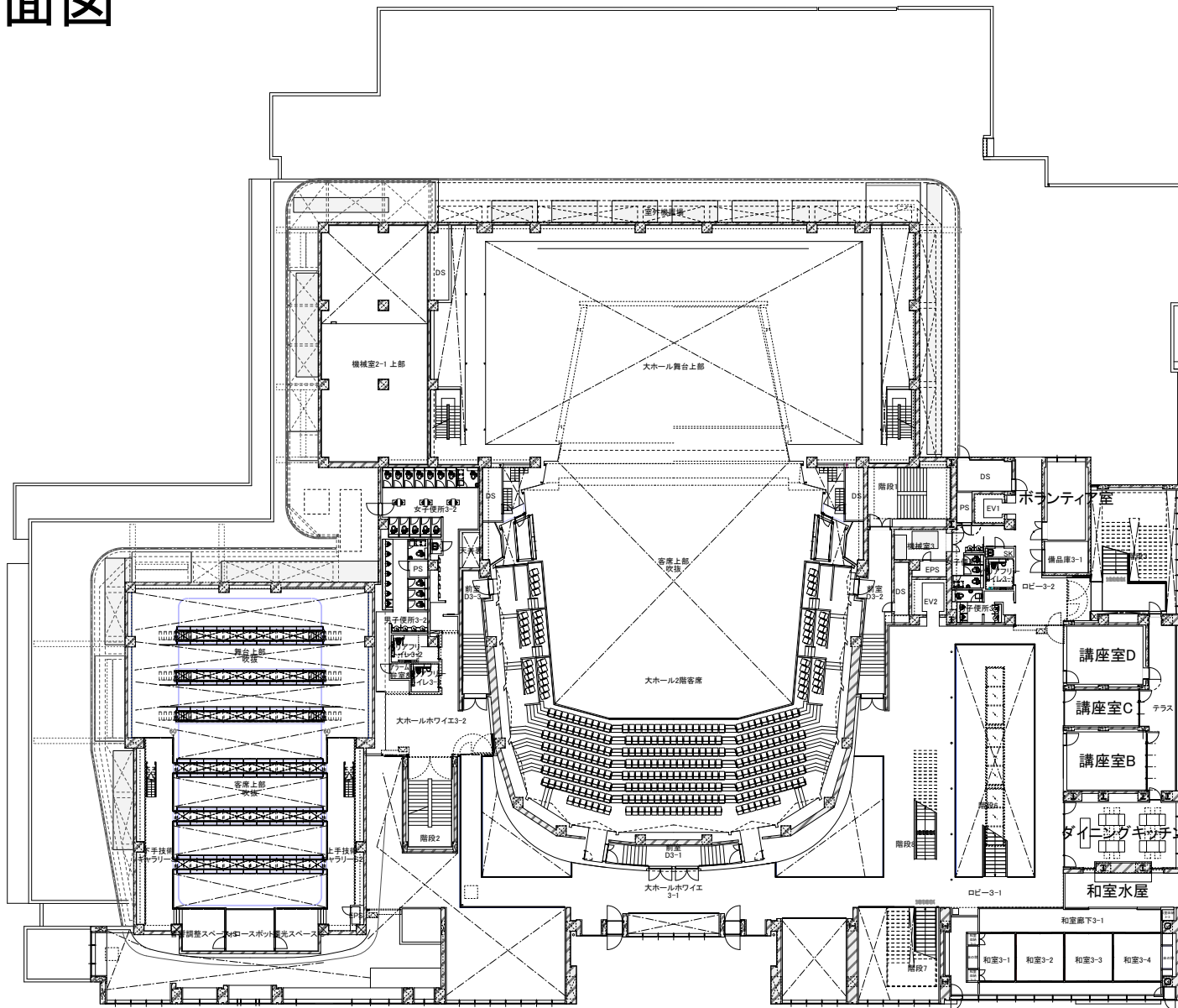
▶ 搬入





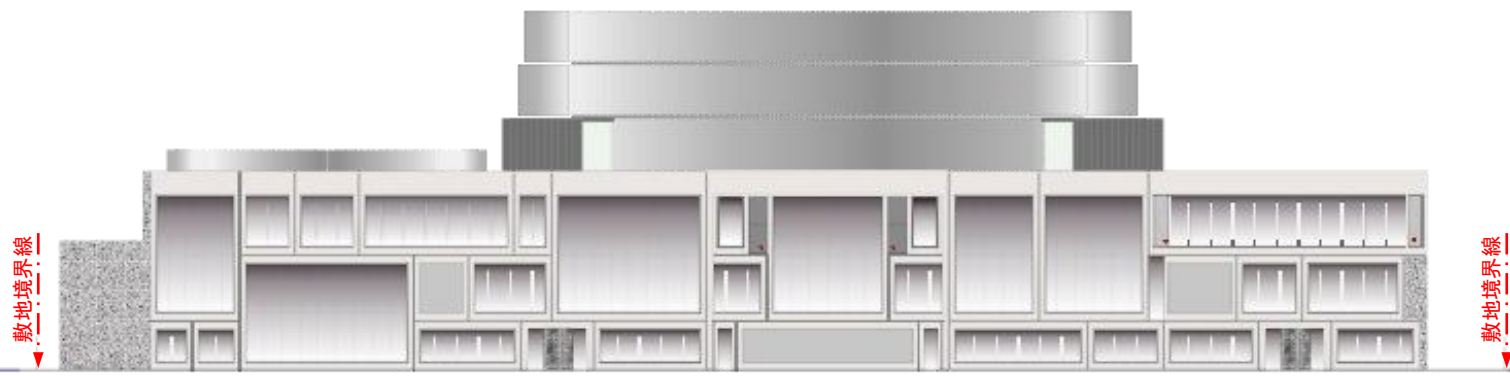


# 3階 平面図



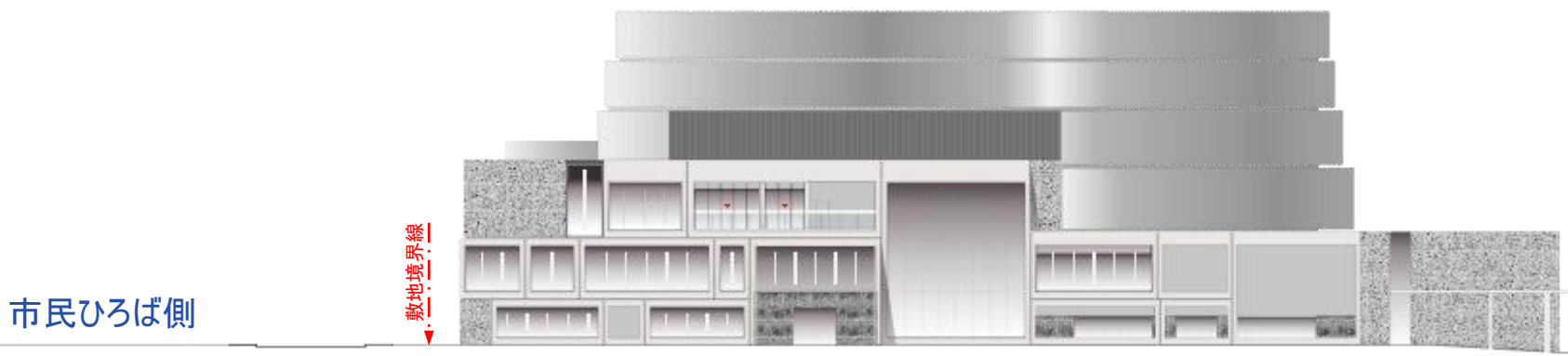


# 立面図



市役所側

南立面

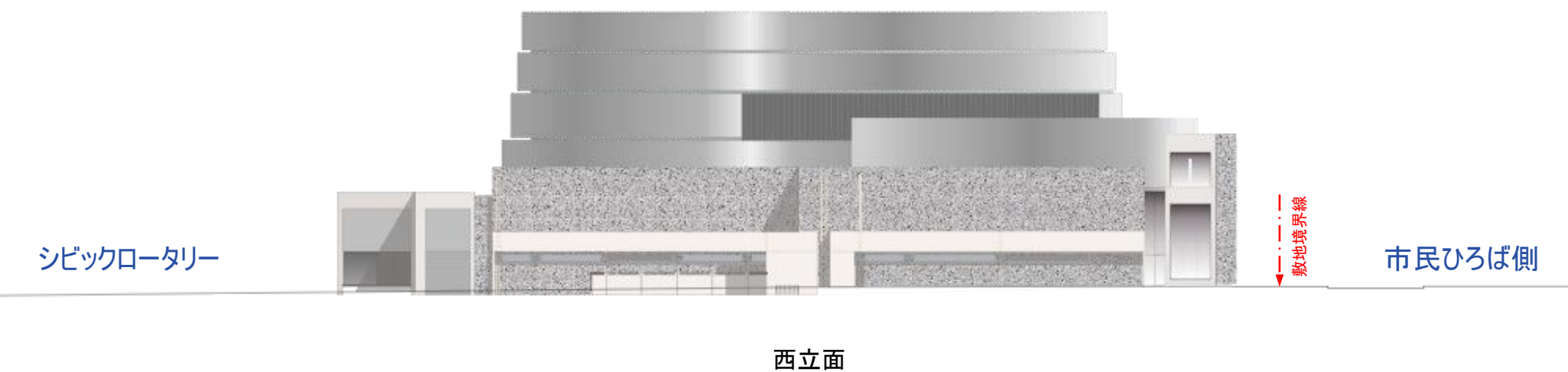
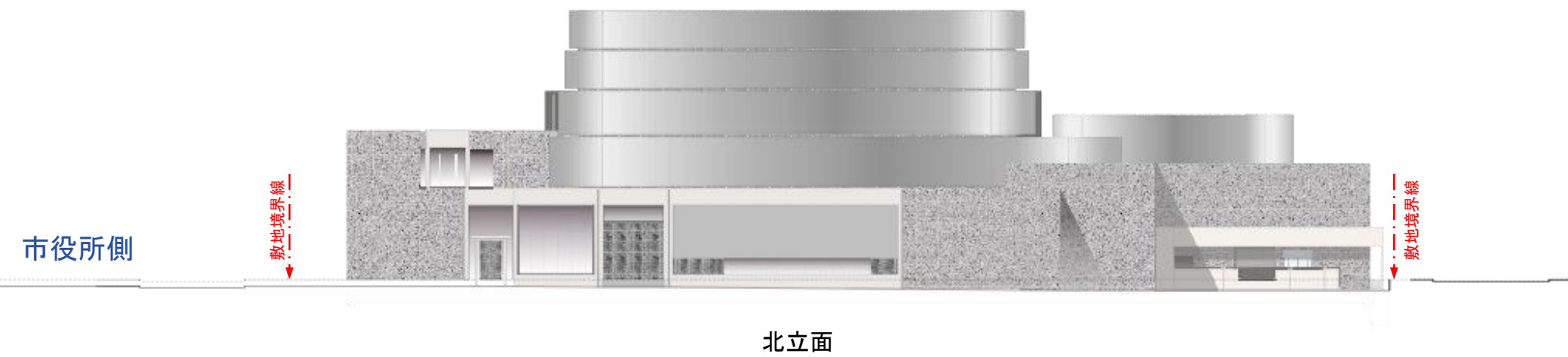


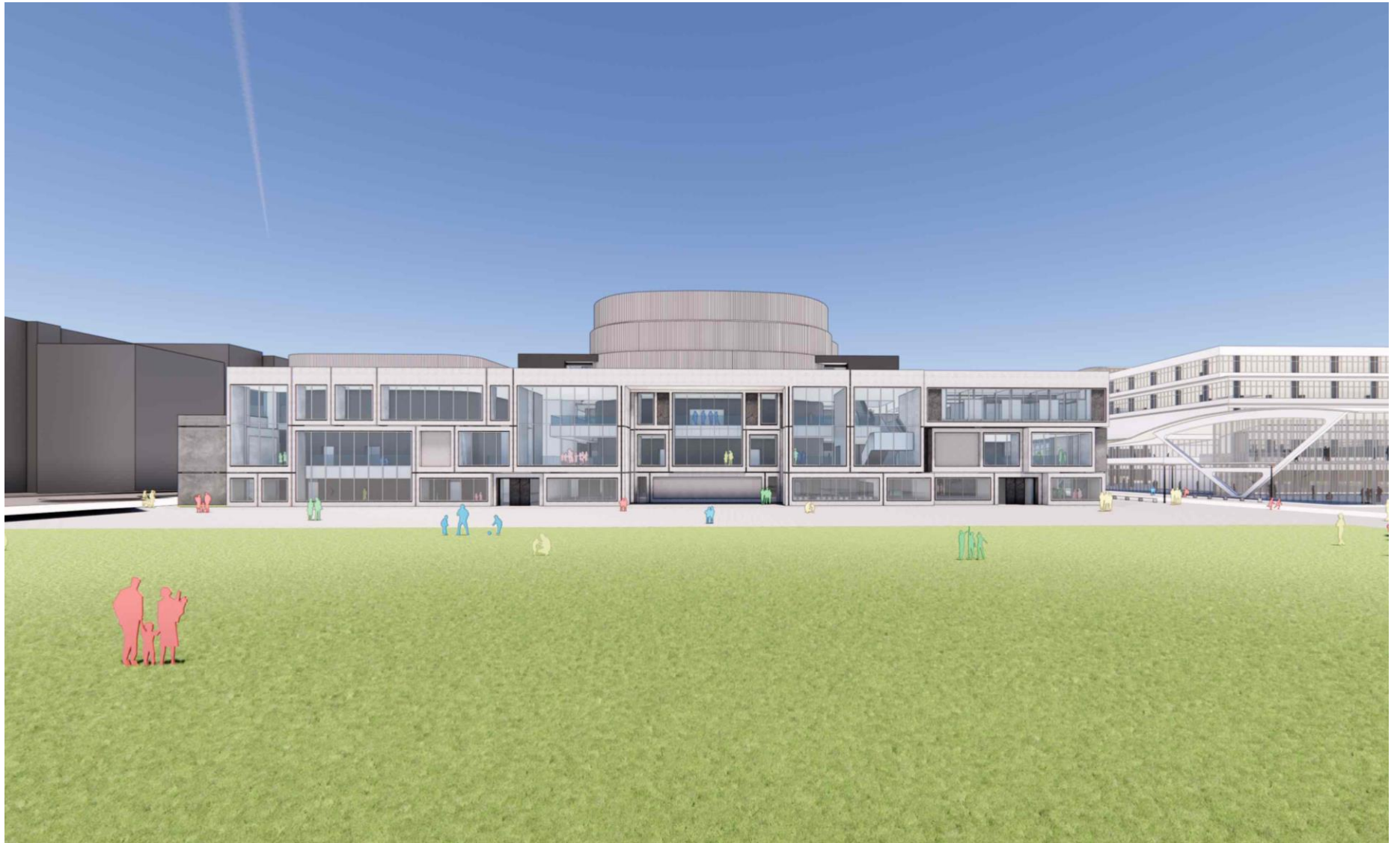
市民ひろば側

シビックロータリー

東立面

# 立面図





市民ひろばから



←市民ひろば

市役所/マルタス→



←市役所

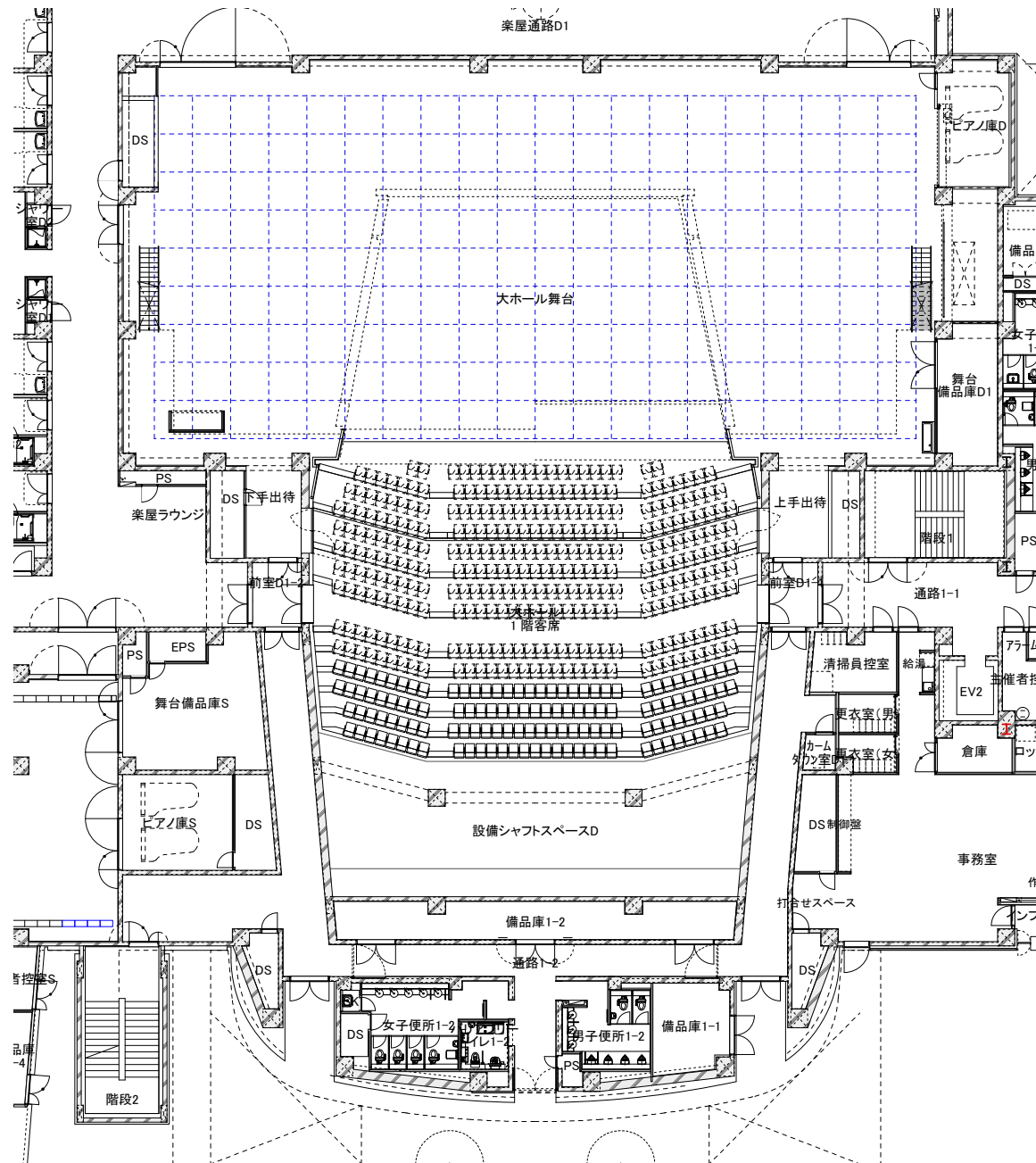
# 大ホール 1階 平面図

1階客席: 831席

2階客席: 338席

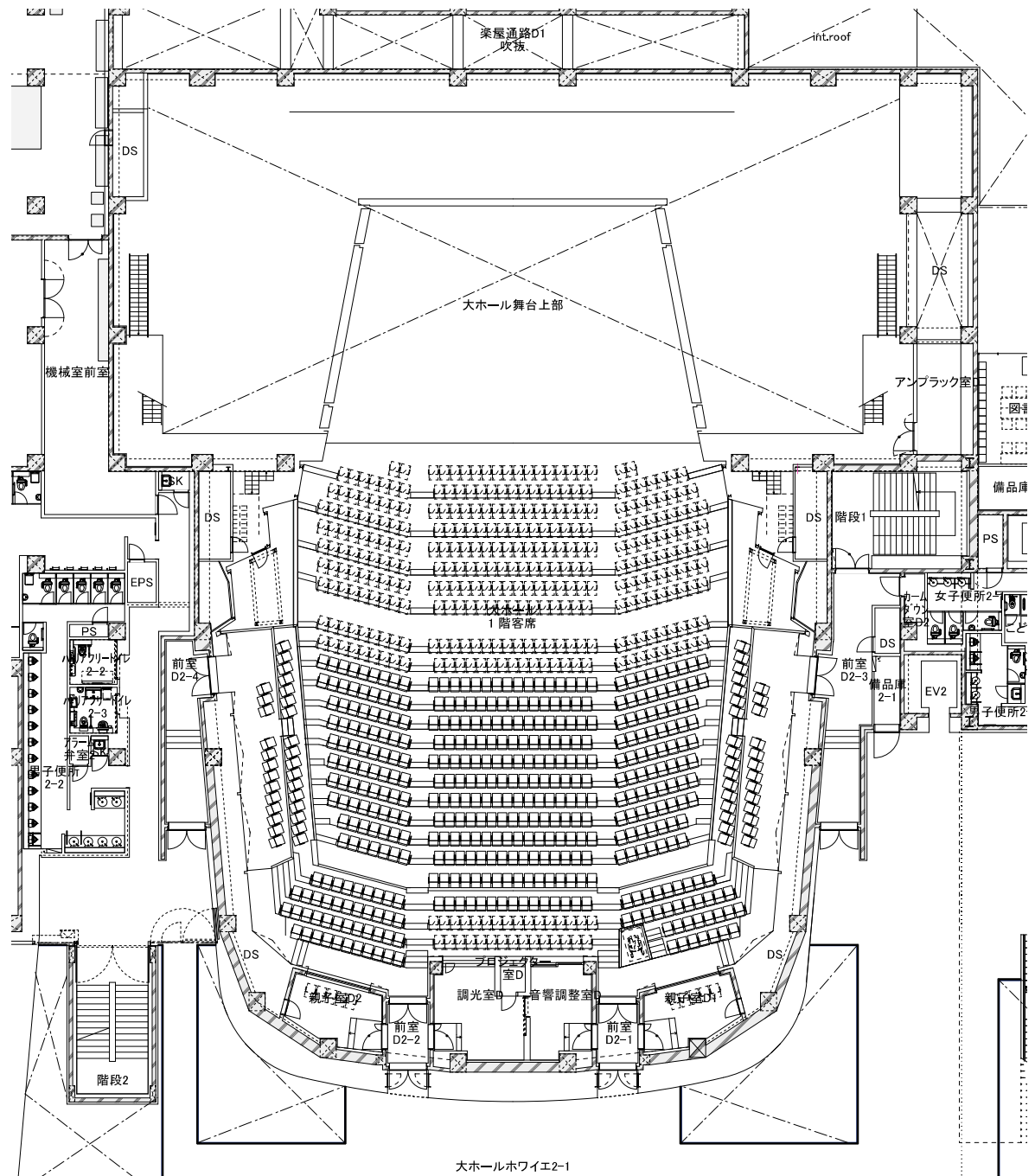
3階客席: 139席

計: 1308席



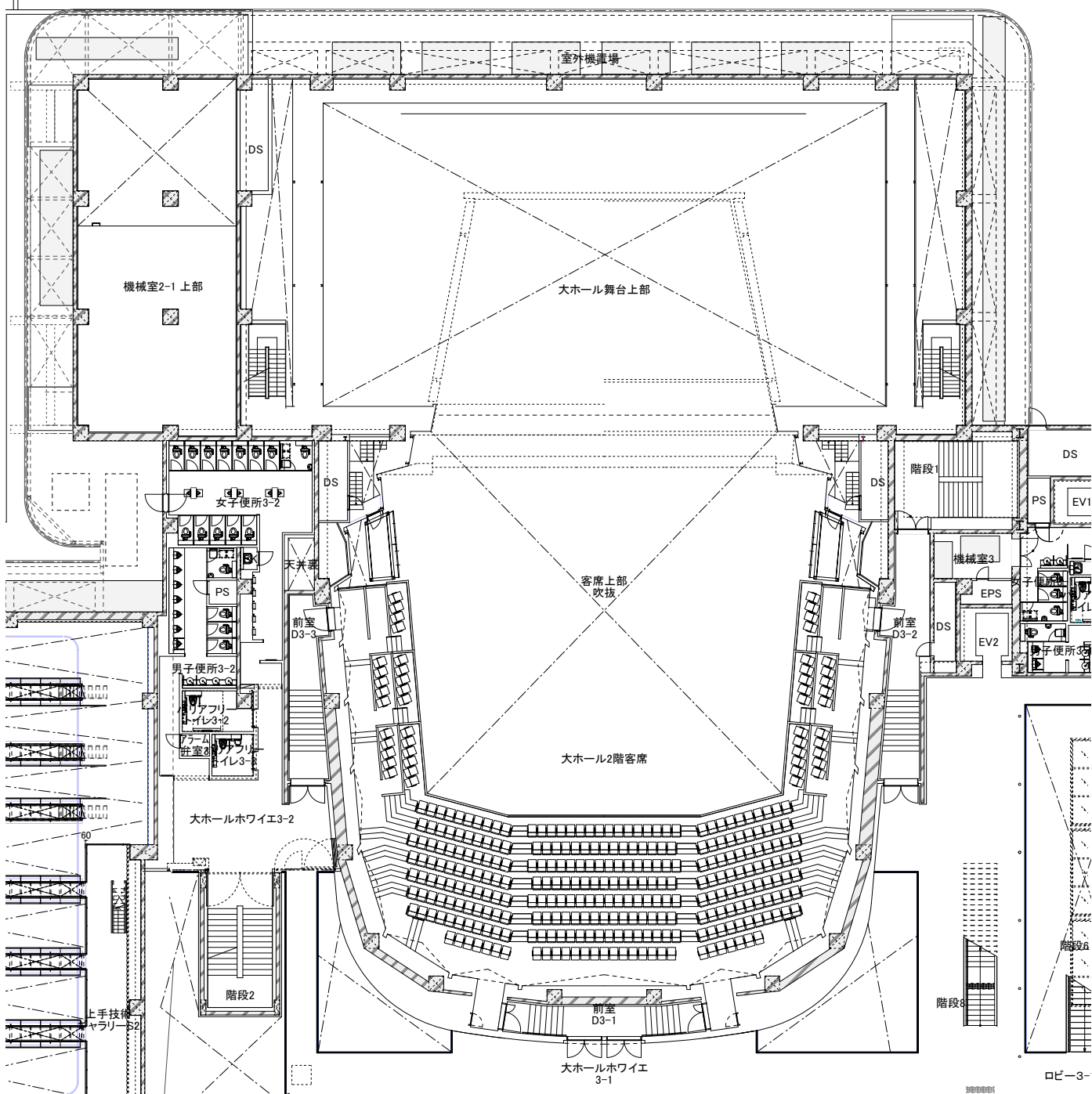


# 大ホール 2階 平面図

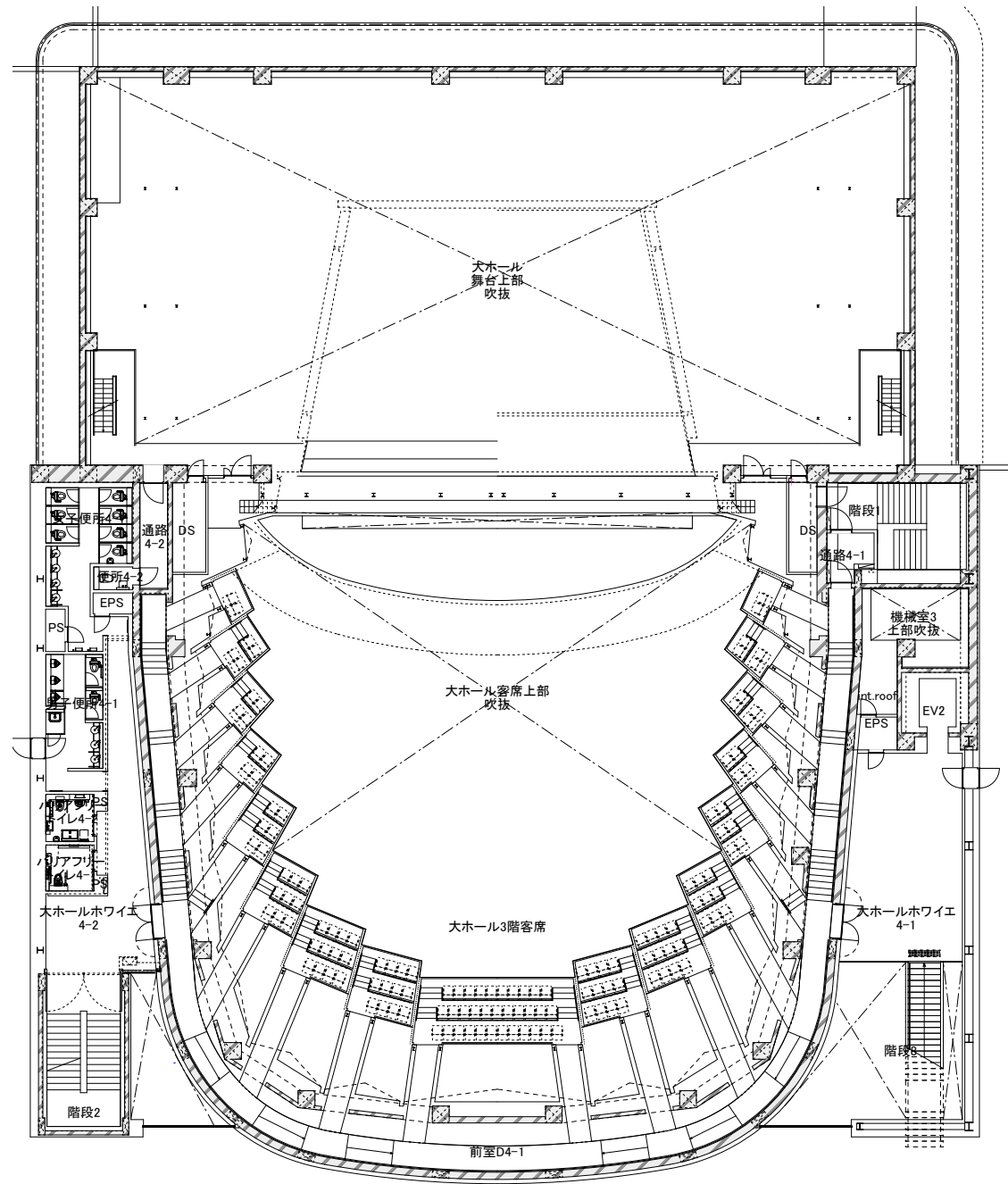


大ホールホワイエ2-1

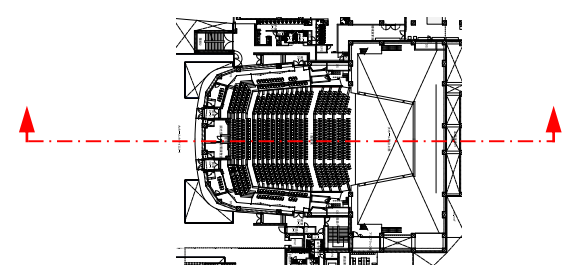
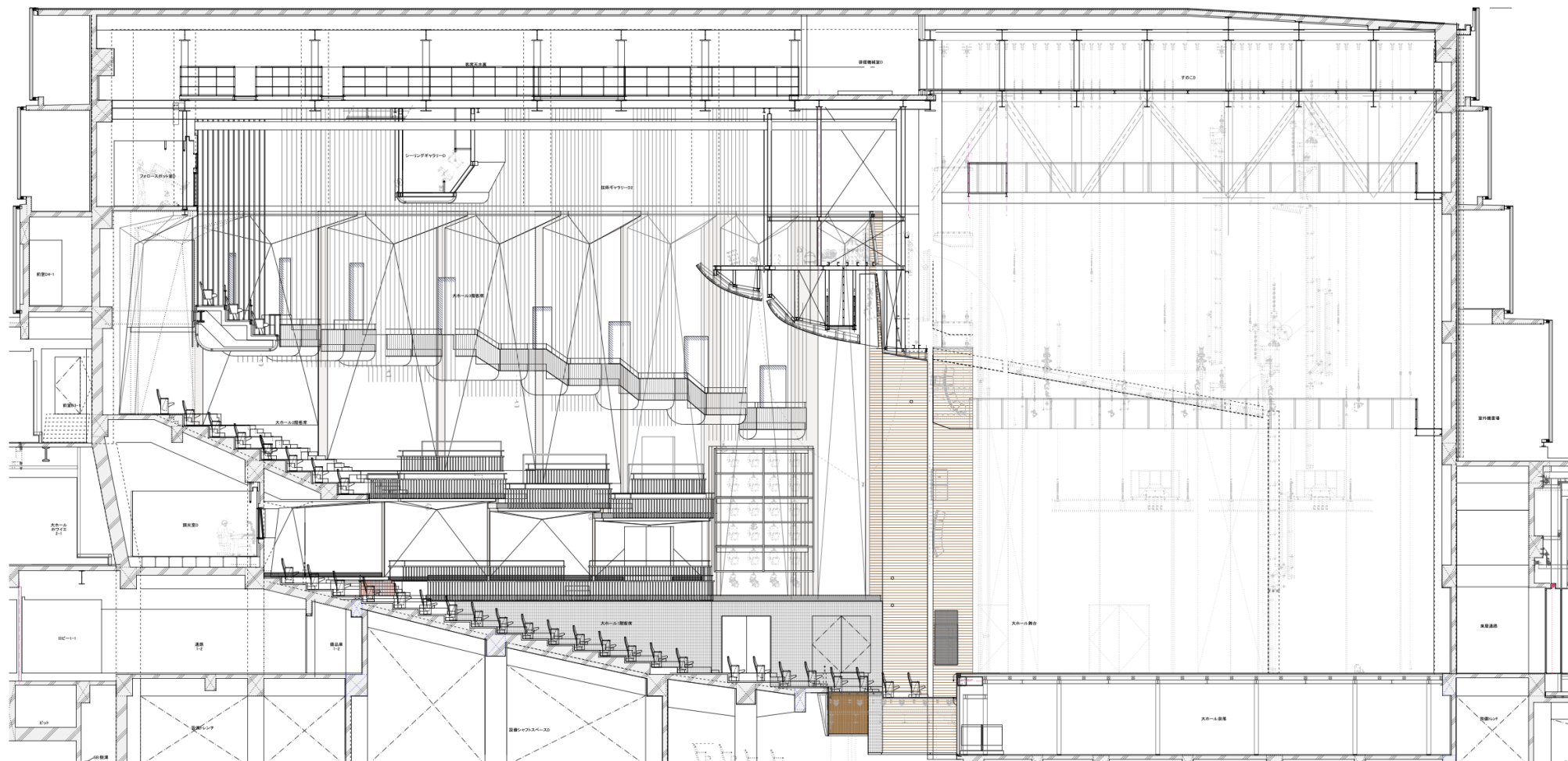
# 大ホール 3階 平面図



# 大ホール 4階 平面図



# 大ホール 断面図



# 内観イメージ 舞台から客席方向

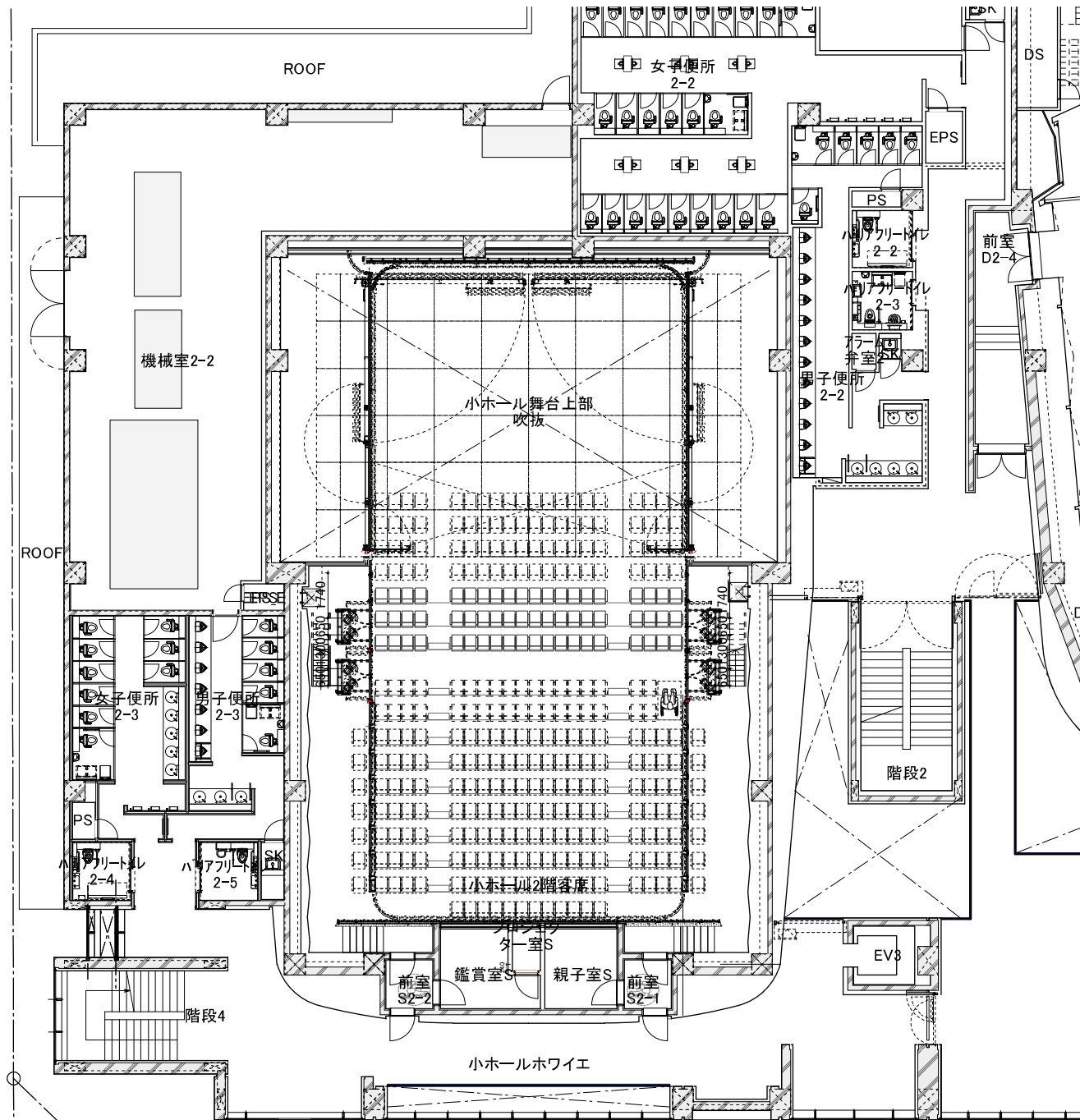


# 内観イメージ 客席から舞台方向



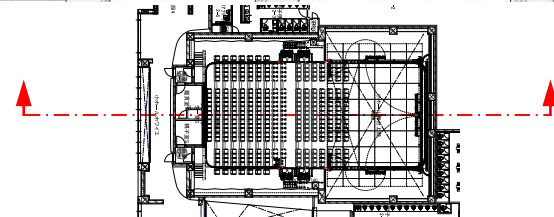
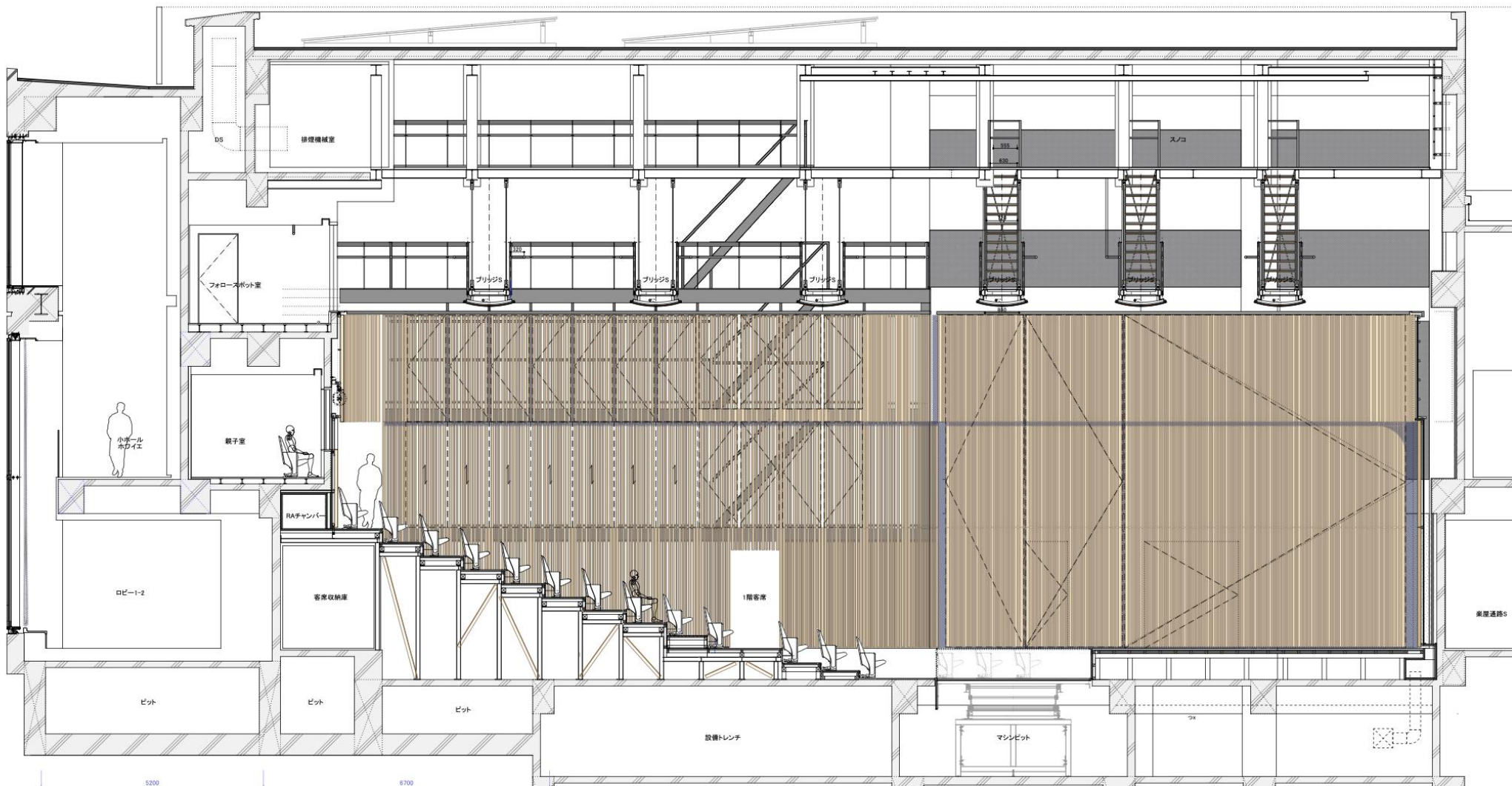


# 小ホール 2階 平面図





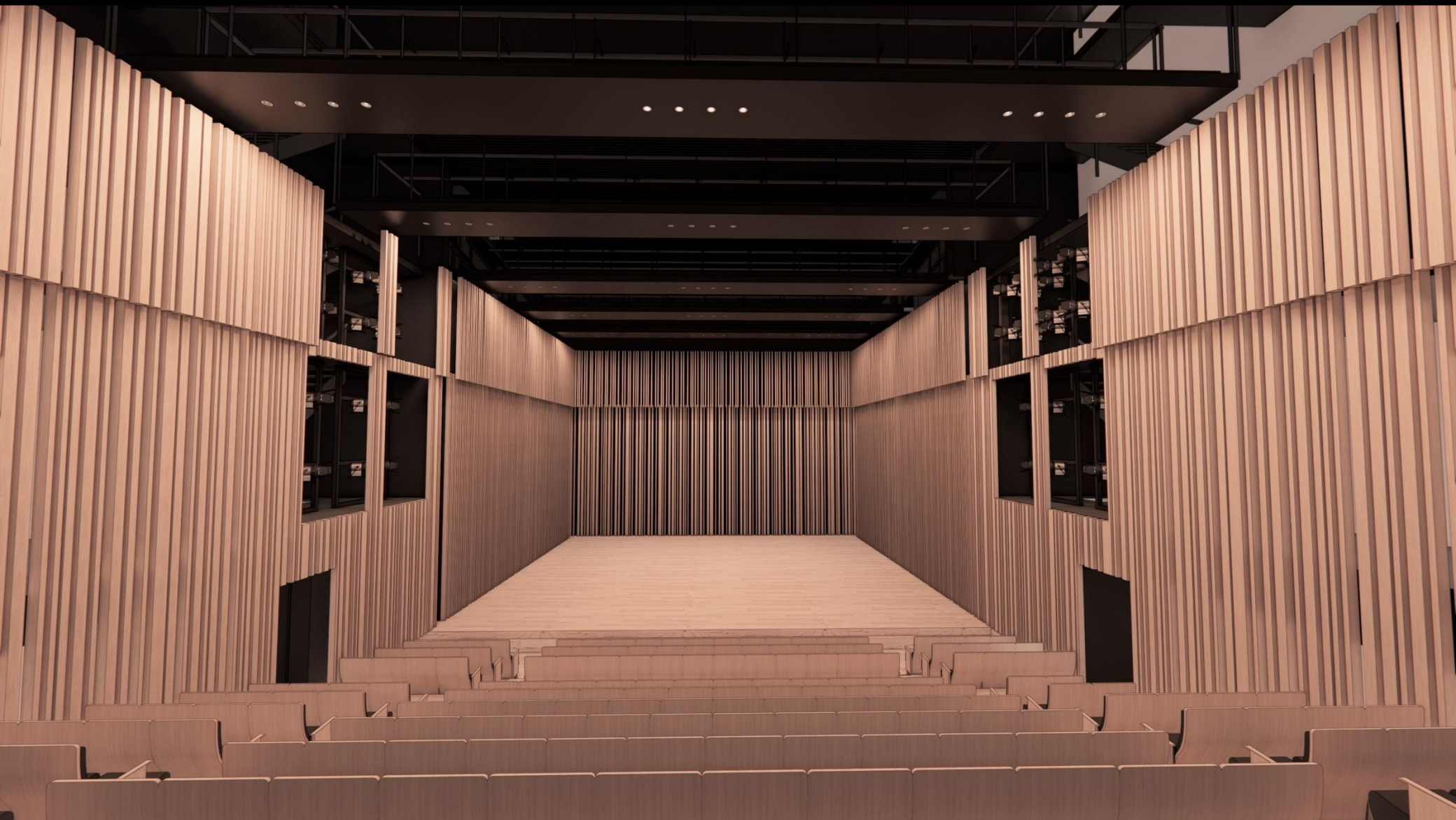
# 小ホール 断面図



# 内観イメージ 舞台から客席方向

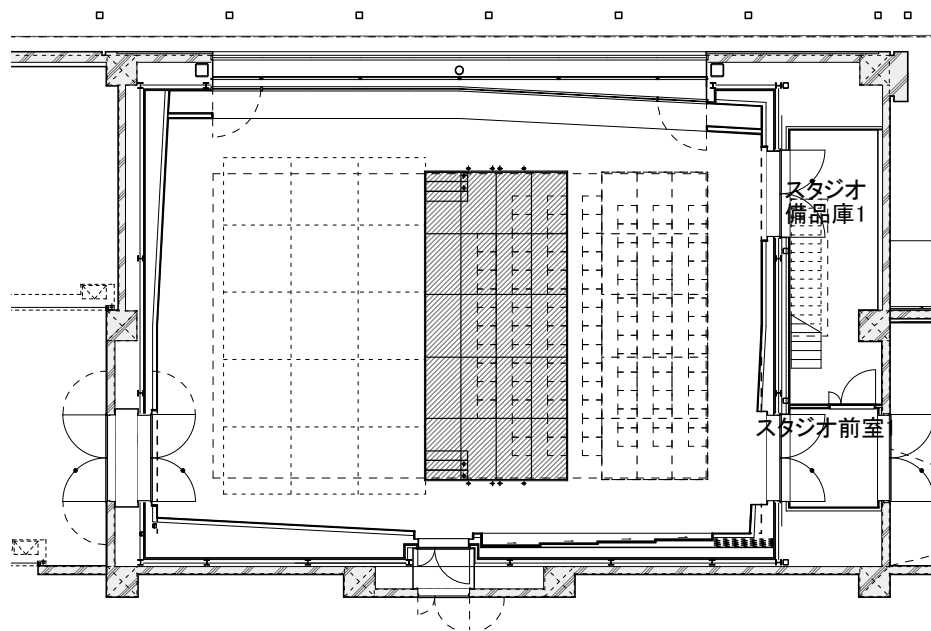


# 内観イメージ 客席から舞台方向

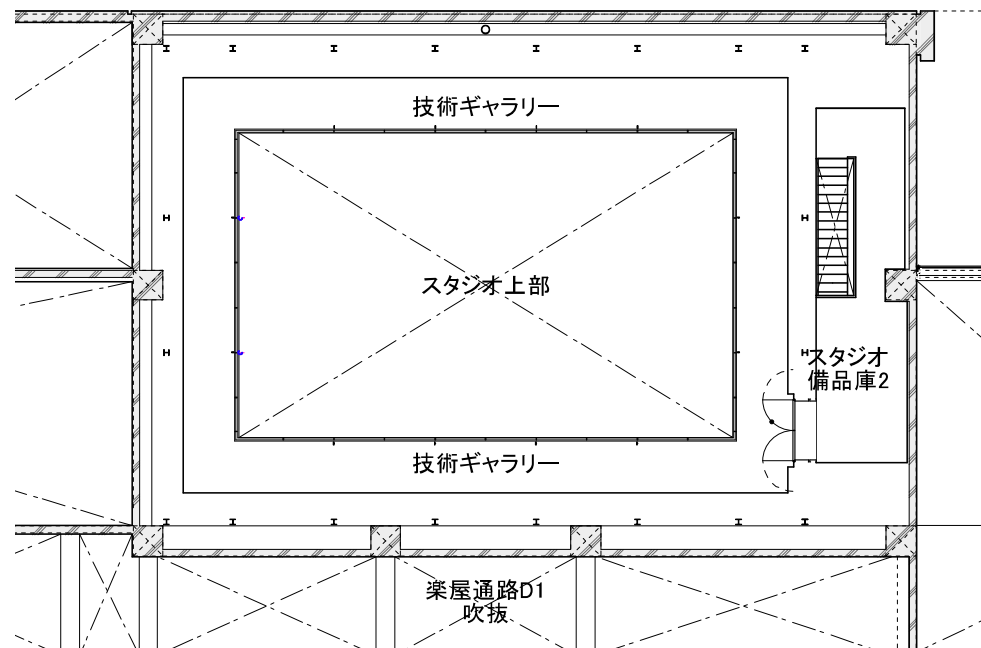


# スタジオ

合計:91席

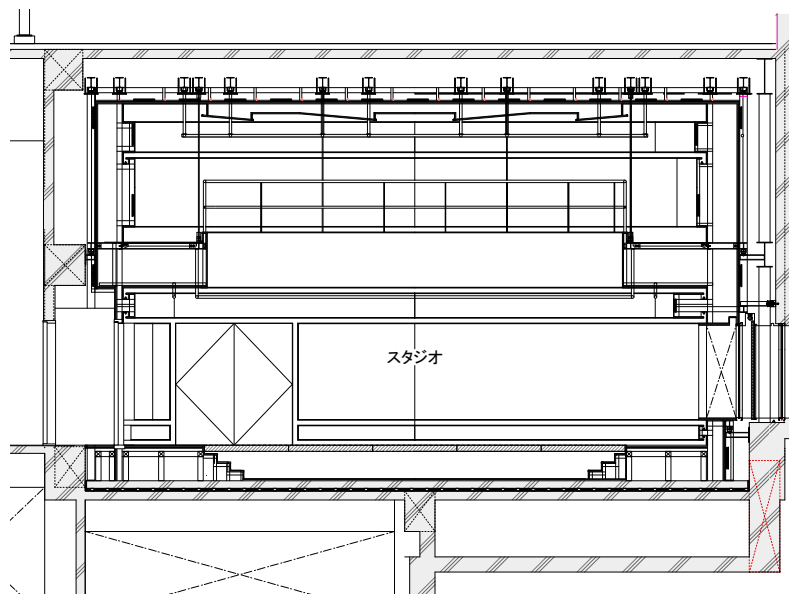


1階平面図

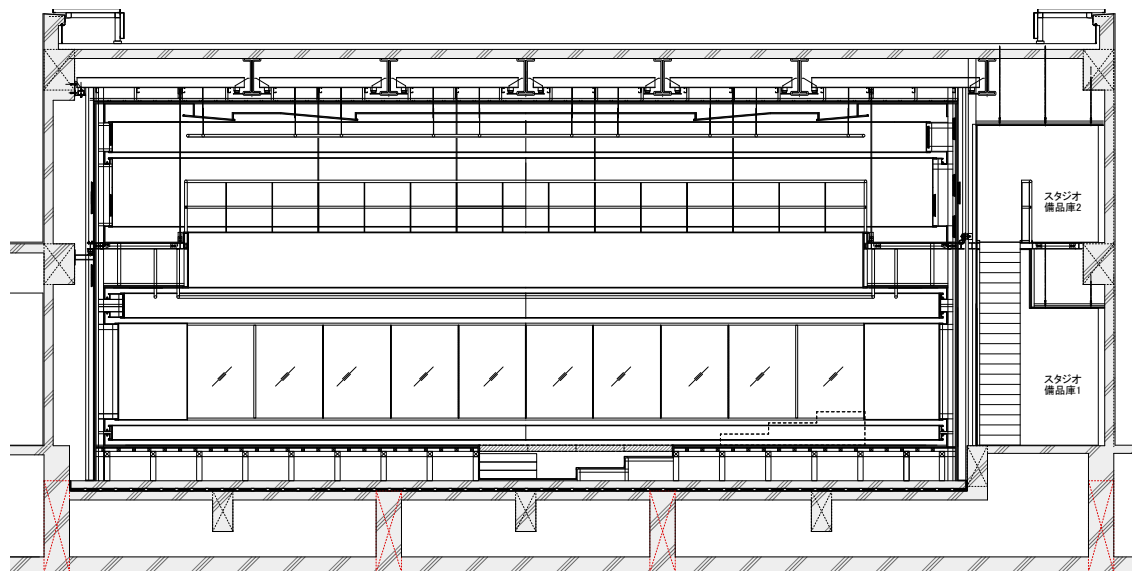


2階平面図

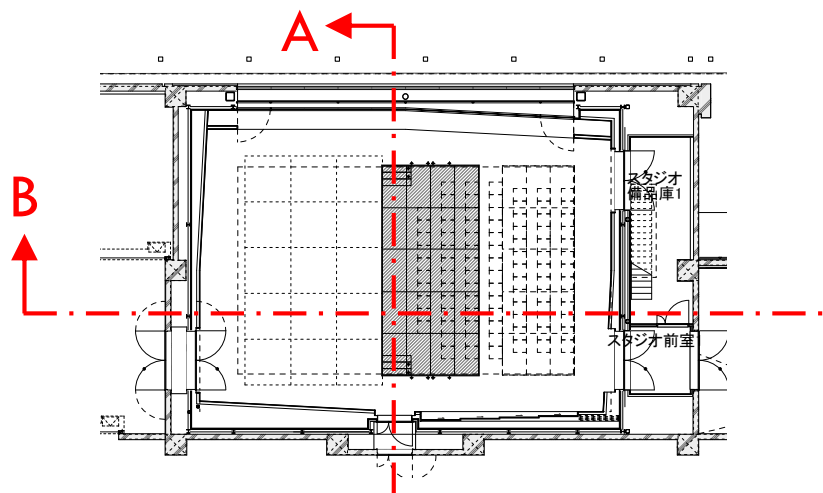
# スタジオ 断面図



A断面

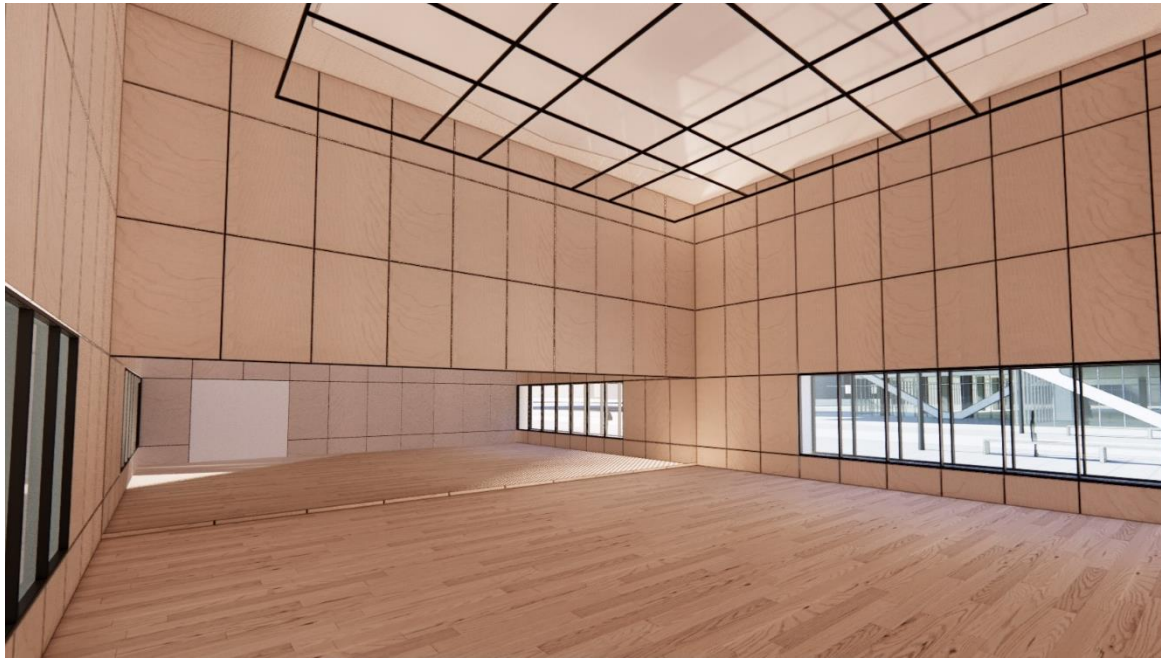


B断面



# 内観イメージ





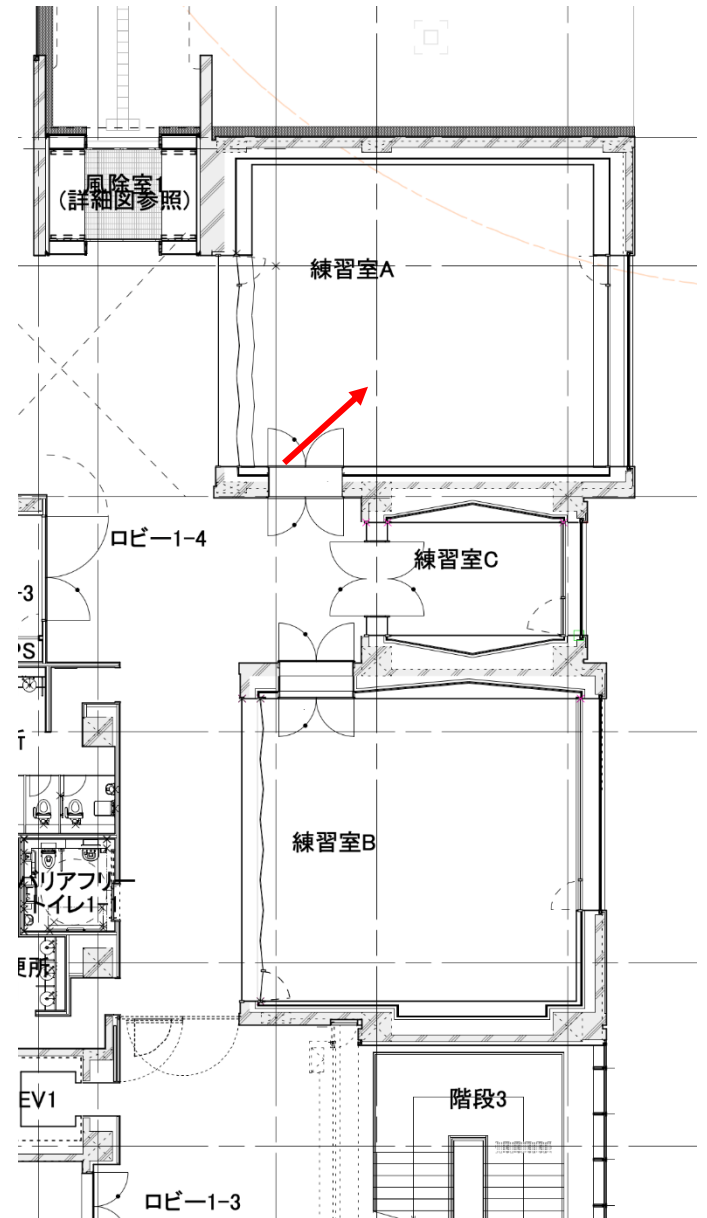
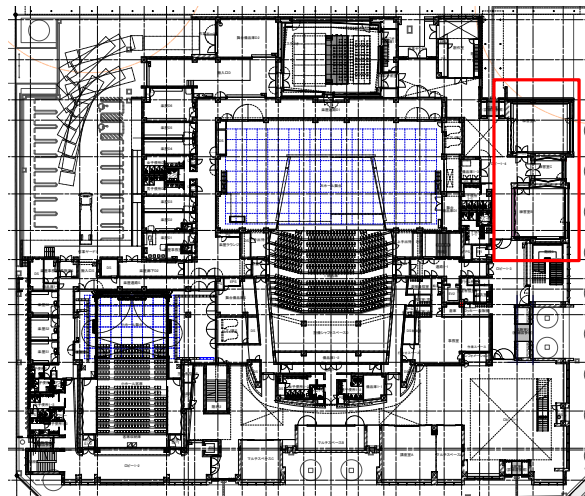
## 日常的なにぎわいをもたらす

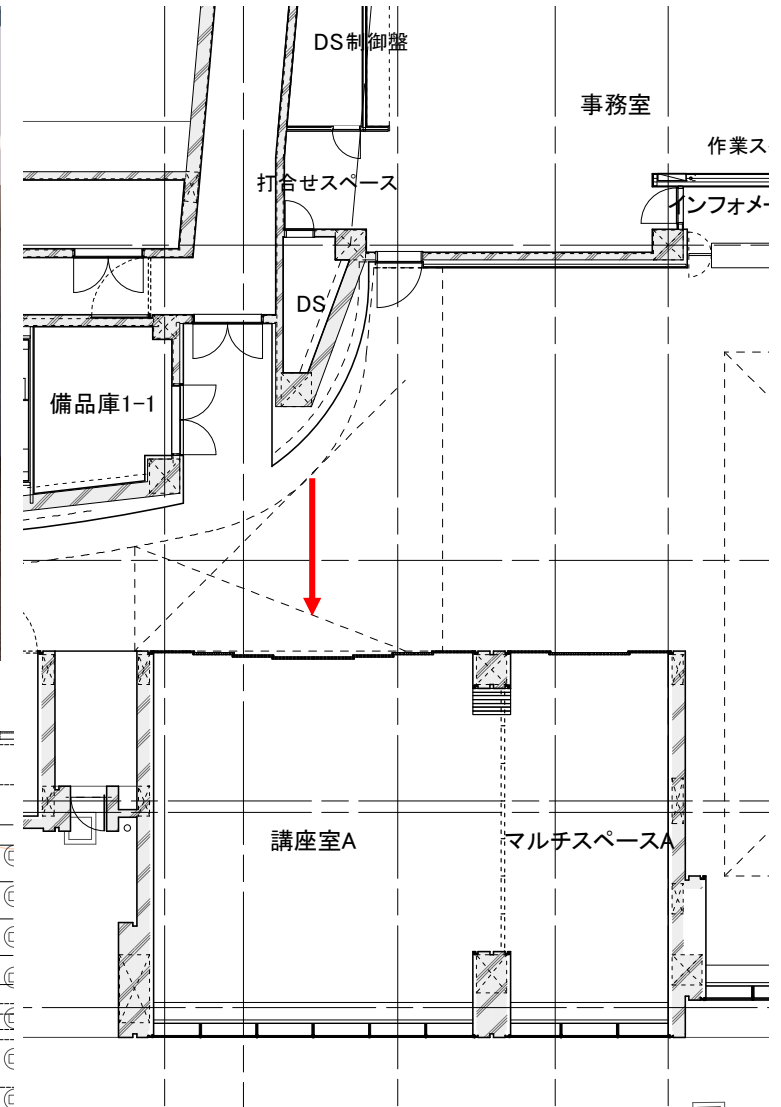
稼働率の高い練習室群を大手前通りに沿って配置することで、丸亀城、市役所、マルタスへ向かう動線上に賑わいを生み出す。各練習室は外光の入る明るい部屋とし、楽屋や会議室への兼用を可能にする。

音楽系：フラッターエコーと音響に配慮した壁面形状。

ダンス系：練習に適した柔らかい床と内装の採用。

ダンス/演劇系：鏡やバレエバー、遮光カーテンを設置。

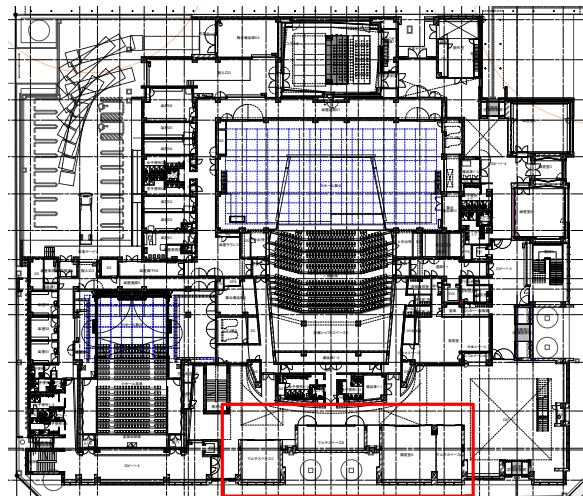




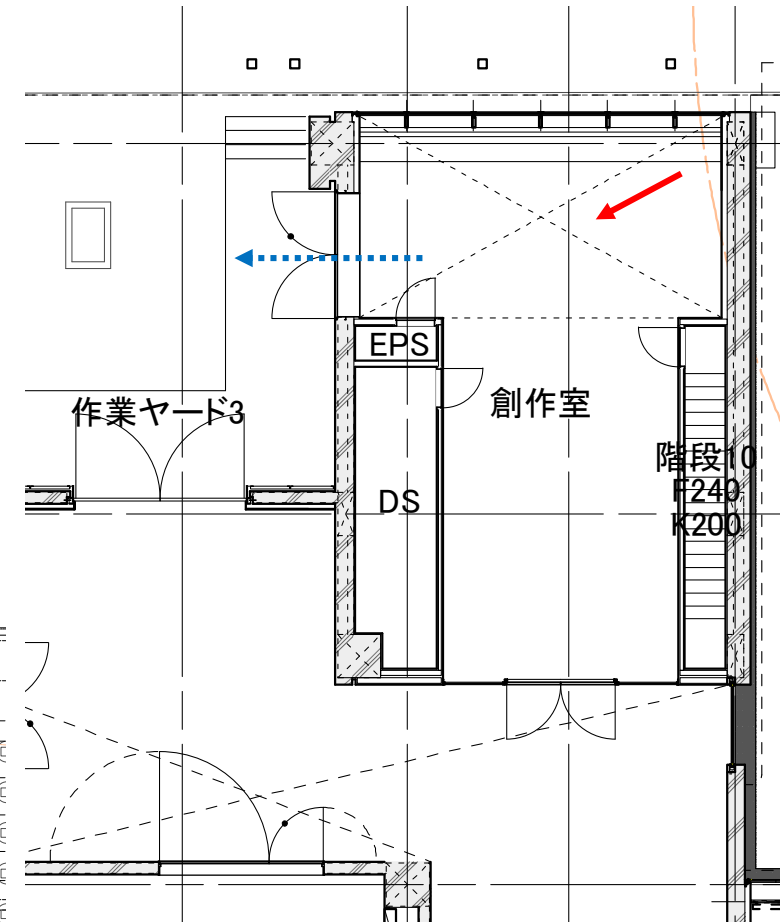
## 講座/練習/展示/控室

出入口を複数設け、扉の開閉により、個室利用やロビーとの一体利用で、練習/講座/展示など、様々な運用のバリエーションを可能にする。

中庭を屋外ステージとして利用する際、出演者の控え室としても機能する。







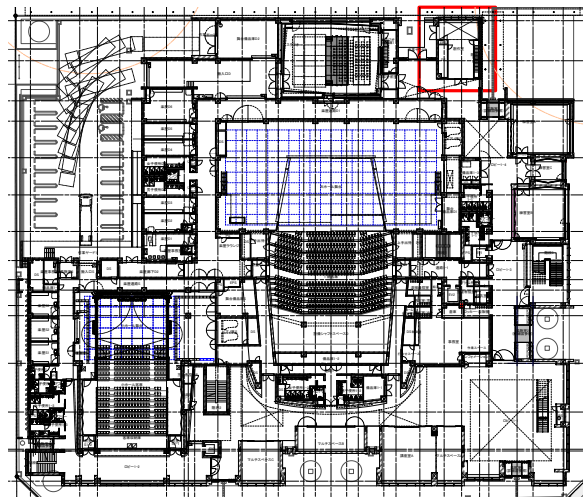
## 創作活動が伺える

製作した大道具等を大ホール、小ホール、スタジオへ効率よく安全に移動させることのできる動線を確保。

作業ヤード搬入口を設けることで外部での作業も可能。

創作室で制作したものをそのまま展示、発表できる。

市民が自由に創作できる場を目指す。





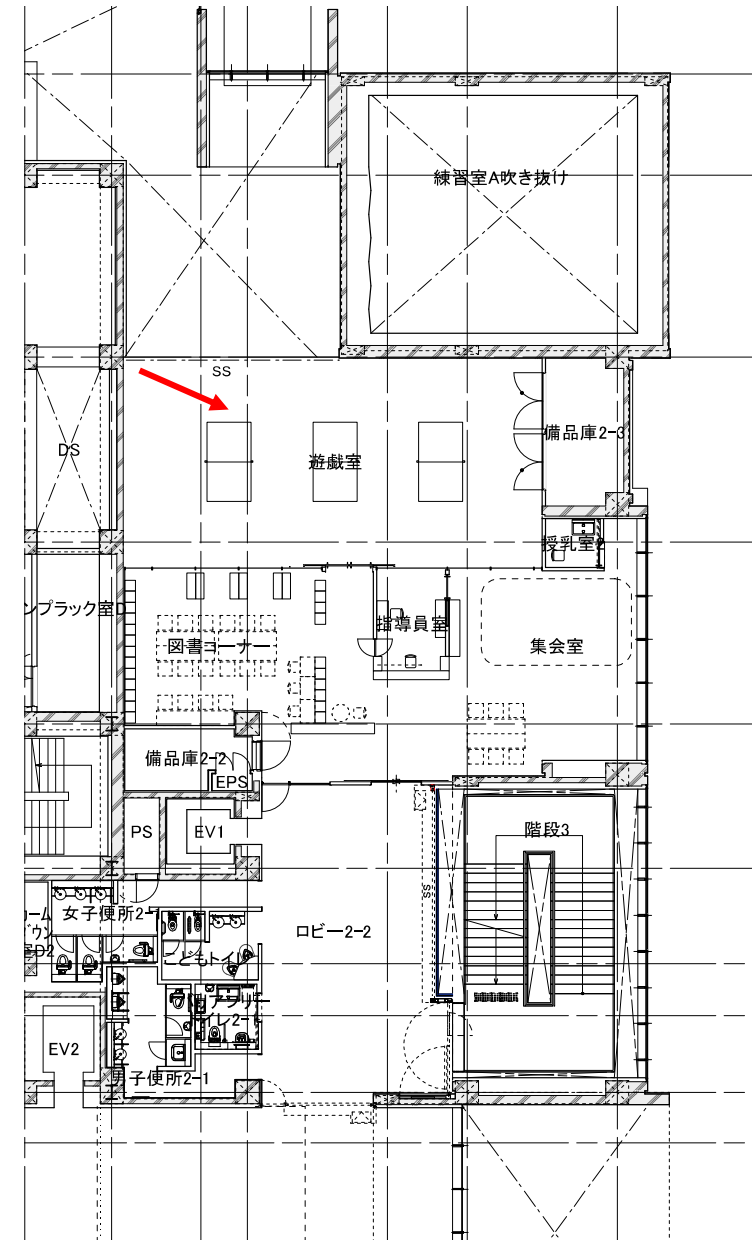
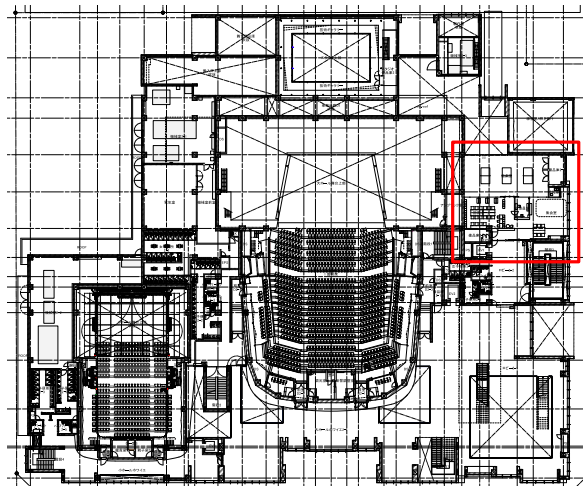
## 文化芸術と育む

北東側にまとめた配置にすることで、劇場と異なる開館時間で運用可能。

受付機能をもつ指導員室は各エリアの監視がしやすい配置とする。

各エリアは壁で完全に仕切らず、本棚や什器等で空間をゆるやかに構成する。

近傍にキッズトイレを配置し、乳幼児連れ利用者に配慮。



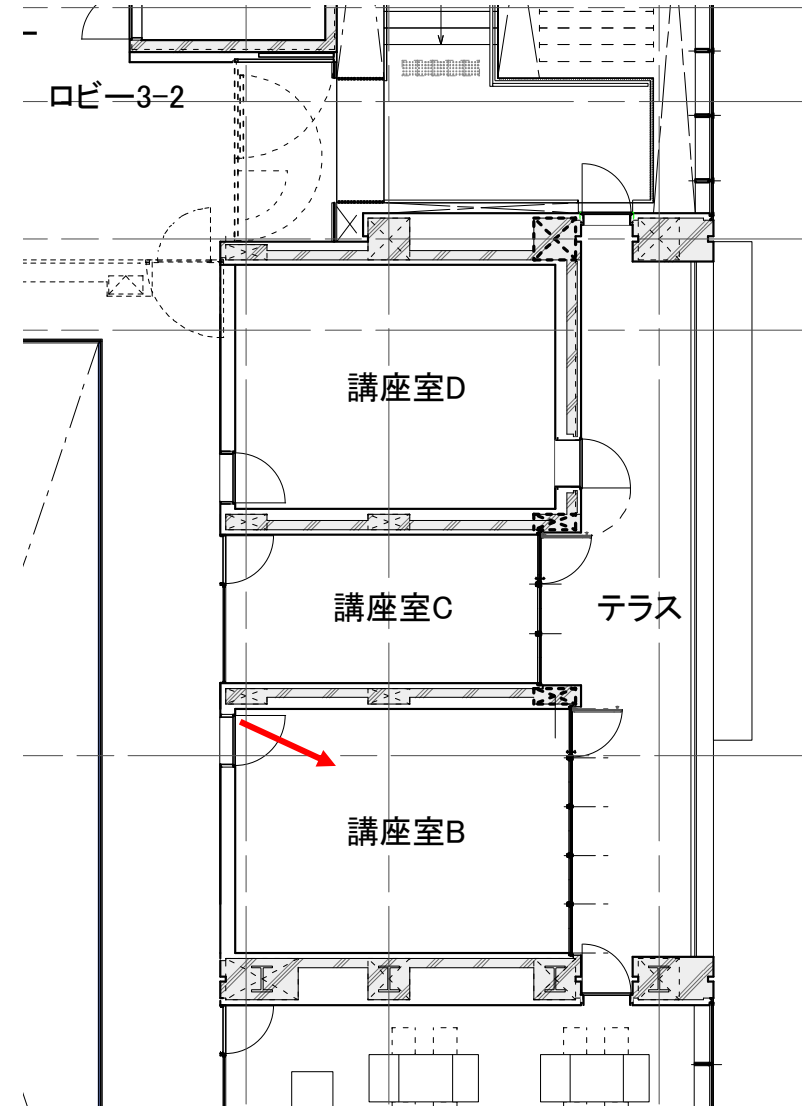
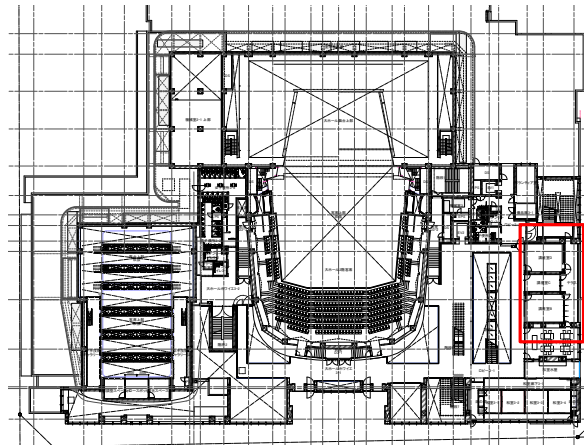


## クローズなマド

クローズタイプのマド。講座や打合せでの利用想定。

大広間の控室としても利用可能。

テラスと一体に利用することで、ここでの活動が通りに賑わいをもたらす。



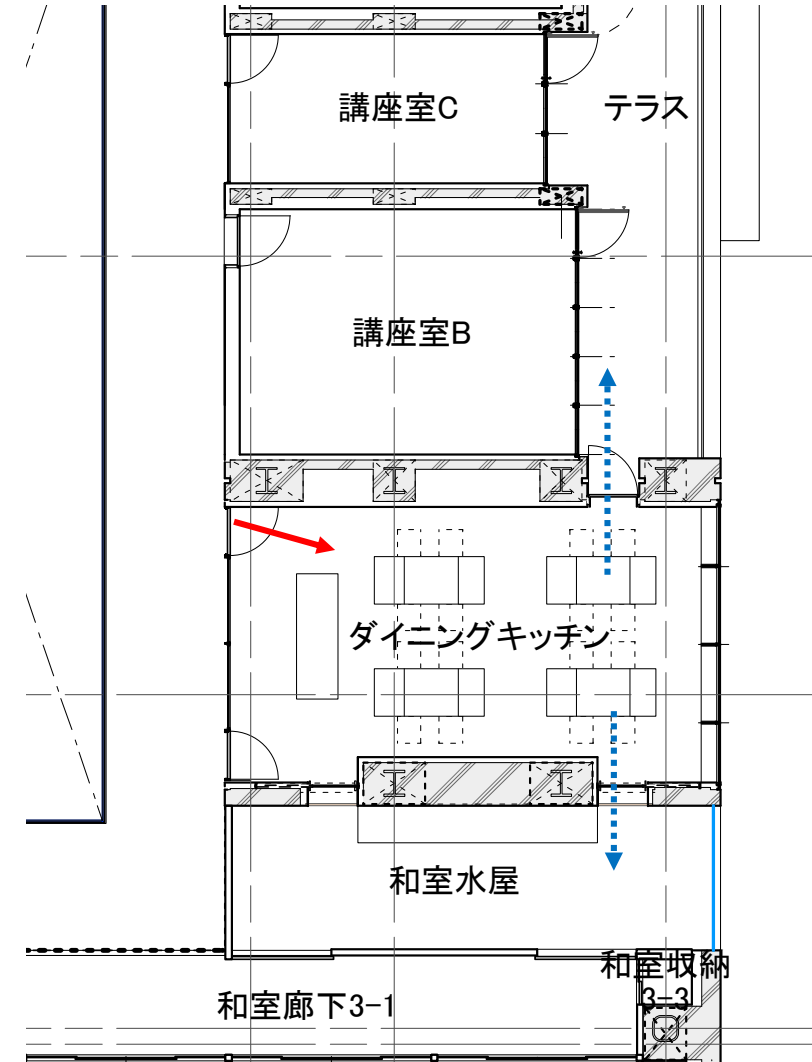
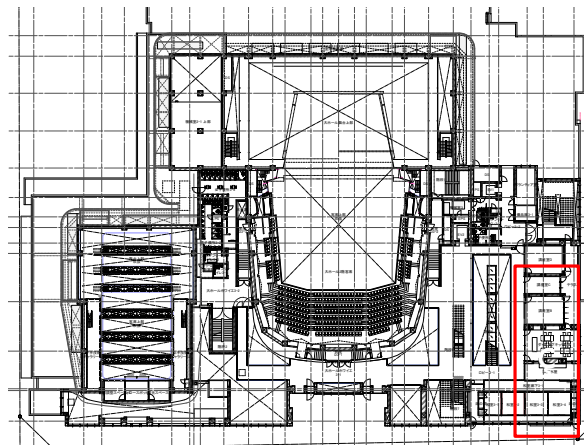


## 周辺マドの使い方を広げる

テラスで食事ができるクッキングスタジオや、大茶会の作業室、大ホールビューフェの厨房としても機能。

キッチンがあることで講座室Bやテラスがイベントスペースに変わる。

和室水屋の拡張機能としても利用可能。

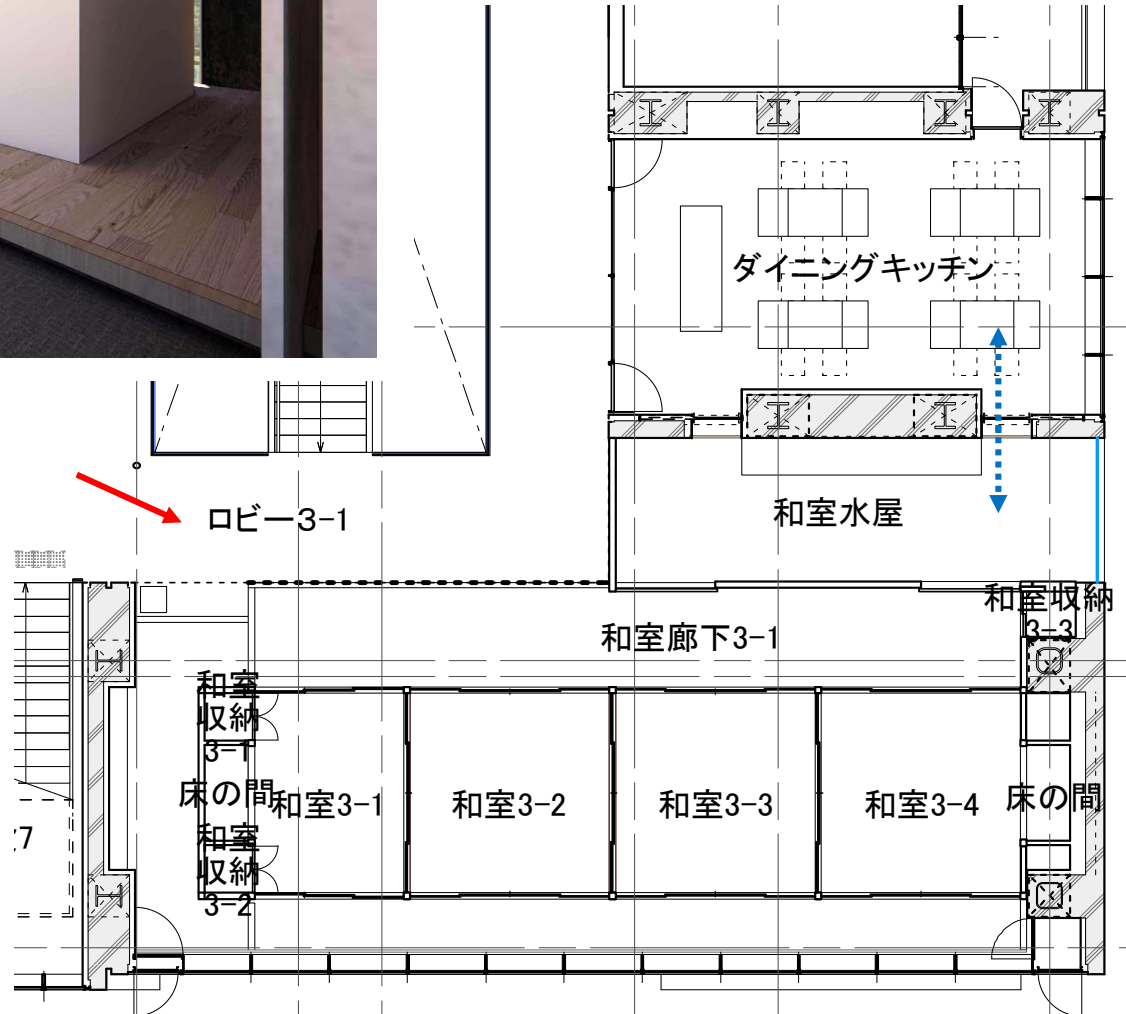
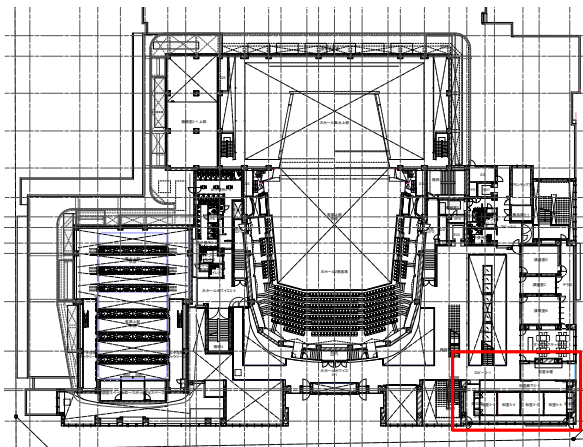


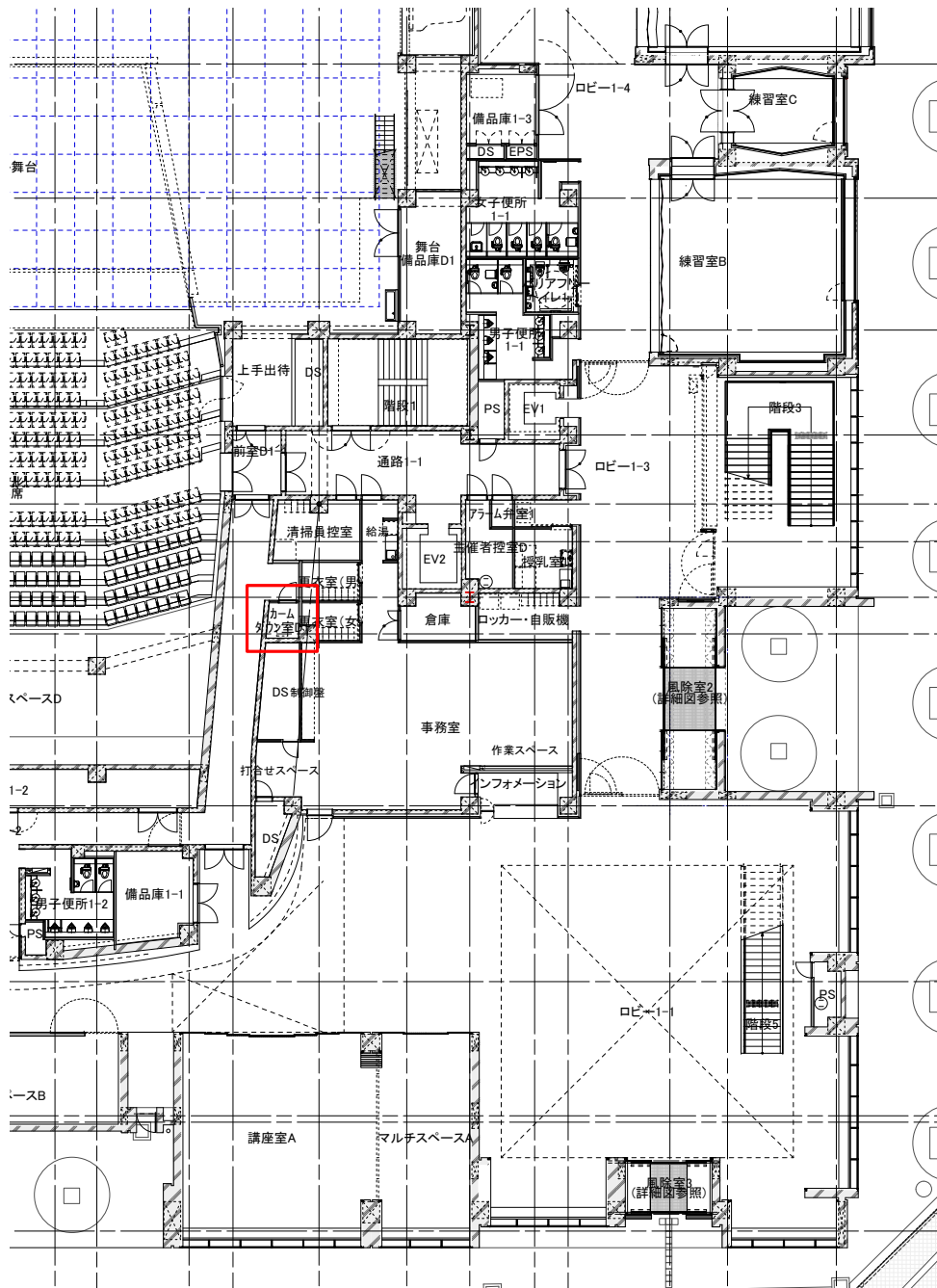


## 大広間

大茶会を想定した規模と内装を計画する。

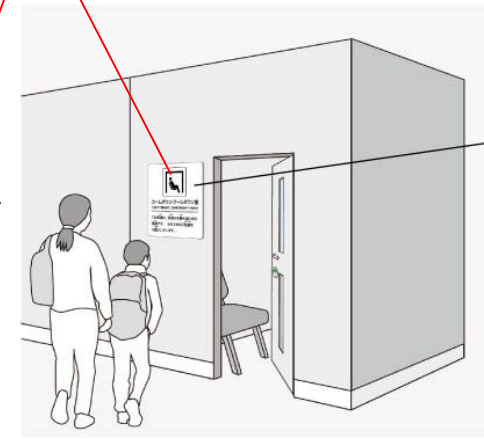
大茶会が行われなときは常時開放し、市民や観光客がゆったりとくつろぎ、交流できる小上がりの空間として機能する。





**カムダウン・クールダウンスペース**  
Calm down, cool down space

この場所は、気持ちを静めるためのスペースです。みなさまのご配慮をお願いいたします。



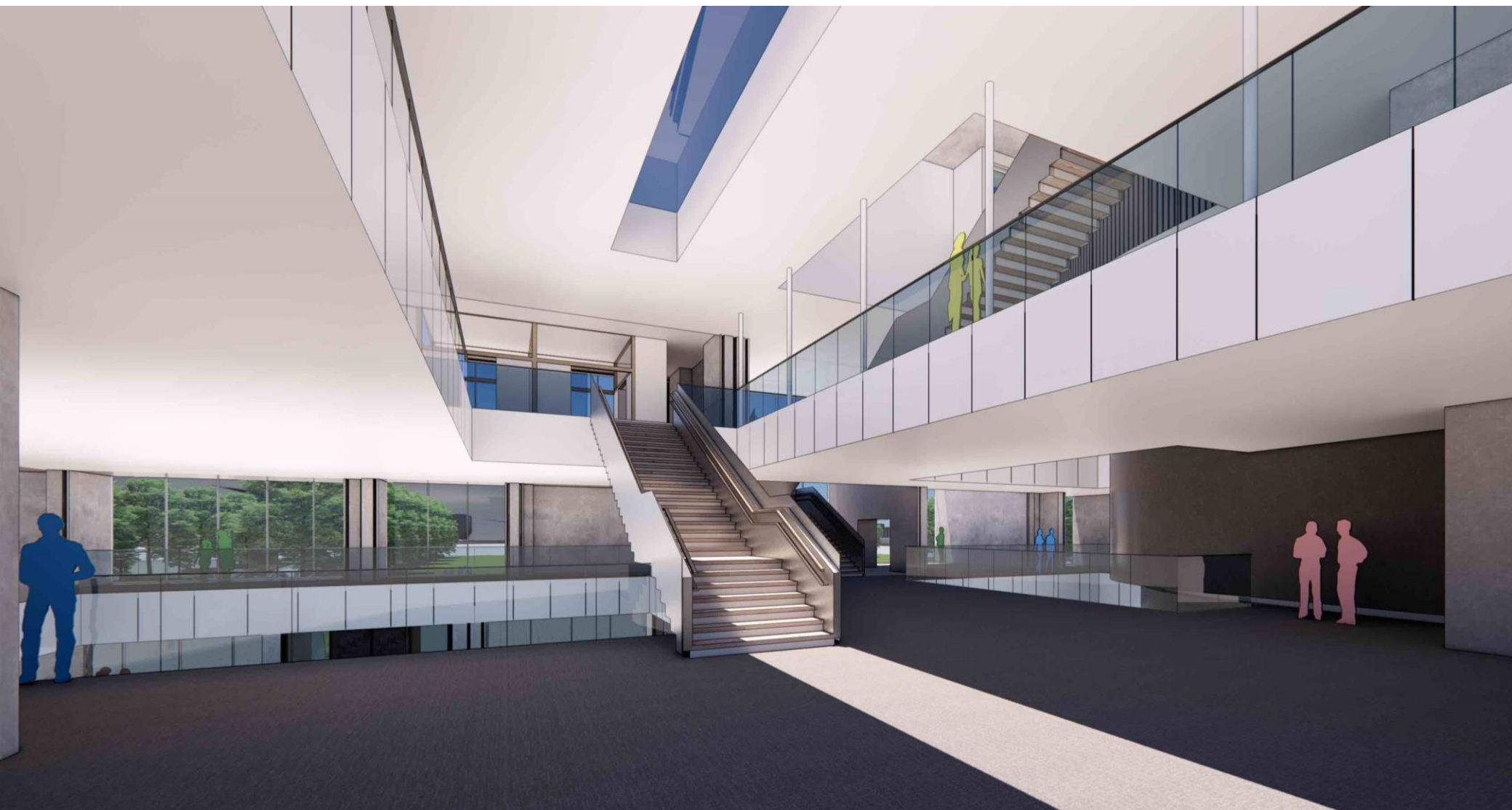


1階ロビー内観



1階ロビー内観





2階ロビー内観